

ver.B. リリースレポート

GLOBALBASE PROJECT

2008-01-08 版

目次

第 1 章	はじめに	6
1.1	目的と概要	6
1.2	このマニュアルを読むために必要な知識	6
1.3	前提となるシステム要件	6
第 2 章	Solaris 版 インストール注意事項 (全リリース)	7
第 3 章	ver.B.b11.01 リリースレポート	8
3.1	バグ:ver.B.b11.01 cosmos,gbview 2006-07-28-06 パニック (set_outside)	8
3.2	バグ:ver.B.b11.01 開発環境 2006-07-28-05 開発環境 (clean 命令において pdf などマニユアル関連のゴミが消えない)	8
第 4 章	ver.B.b11.02 リリースレポート	10
4.1	バグ:ver.B.b11.02 cosmos,gbview 2006-07-28-02 画面表示の乱れ (ゴミプロットが現れる)	10
4.2	バグ:ver.B.b11.02 cosmos 2006-08-16-01 XL エラー停止 (CARD style の書き方によるエラー停止)	10
4.3	バグ:ver.B.b11.02 cosmos 2006-08-16-00 画面表示の乱れ (アンカー付きプロット文字の右縦線が現れる)	11
4.4	バグ:ver.B.b11.02 gbview 2006-08-07-00 画面表示の乱れ (LOCALBASE)	11
4.5	バグ:ver.B.b11.02 gbmp 2006-08-04-00 メモリーエクスパイア (gbmp)	12
4.6	バグ:ver.B.b11.02 landscape:makefile.xl 2006-08-02-00 無駄なエラー表示 (landscape:makefile.xl)	12
第 5 章	ver.B.b12 リリースレポート	14
5.1	新機能:ver.B.b12 all n2006-09-10-00 XL 関数 (DefineEval)	14
5.2	新機能:ver.B.b12 all n2006-09-10-01 マニュアル環境 (英語版に対応)	14
5.3	新機能:ver.B.b12 all n2006-09-10-00 マニュアル環境 (トラッキング機能の強化)	15
5.4	バグ:ver.B.b12 all 2006-09-09-00 エージェントのロック (高負荷状態でロックするエージェントが発生)	15
5.5	バグ: gbpmmd 2006-07-28-09 永久ロック (gbpmmd ファイル)	16
5.6	バグ:ver.B.b12 all 2006-09-24-00 開発環境 (mdep に-i,-o など規定のオプション以外のオプションをつけるとそれをファイルと誤認)	17
第 6 章	ver.B.b13 リリースレポート	18
6.1	新機能:ver.B.b13 all n2006-10-16-00 マトリックスフォーマットサポート	18
6.2	バグ:ver.B.b13 all 2006-10-16-00 ゾンビプロセスが増殖する	18
第 7 章	ver.B.b13.01 リリースレポート	20
7.1	新機能:ver.B.b13.02 all n2006-11-02-00 マトリックスフォーマットサポート	20
7.2	チューニング:ver.B.b13.01 all t2006-11-02-00 表示機能の効率の向上	20
7.3	チューニング:ver.B.b13.01 all t2006-11-02-00 表示機能の効率の向上	21

7.4	バグ:ver.B.b13.01 gbview 2006-10-25-00 gbview のバスエラー (3 桁以上の座標系 ID を使うと gbview がコアダンプする)	21
7.5	バグ:ver.B.b13.01 gbview 2006-10-22-00 LOCALBASE アクセスで格段に効率が低下するときがある。	21
7.6	バグ:ver.B.b13.01 gbmh 2006-10-21-00 gbmh が起動しない	22
7.7	バグ:ver.B.b13.01 xlsv 2006-10-19-00 エラーディテクションの不足 (HttpAgent の設定内容にエラーがあっても、表示されない)	23
第 8 章	ver.B.b14 リリースレポート	24
8.1	新機能:ver.B.b14 COSMOS n2007-02-10-02 基本的なメニューの充実	24
8.2	新機能:ver.B.b14 COSMOS n2007-02-10-01 ワープポイントメニュー	24
8.3	新機能:ver.B.b14 COSMOS n2007-02-10-03 ワープボックス	25
8.4	新機能:ver.B.b14 COSMOS n2007-02-10-00 履歴機能機能	26
8.5	新機能:ver.B.b14 HTTP-GATEWAY n2007-02-10-04 GATEWAY-COSMOS 連携機能	28
8.6	チューニング:ver.B.b14 HTTP-GATEWAY t2007-02-10-00 HTTP-GATEWAY の FireFox,Safari への対応	29
8.7	バグ:ver.B.b14 cosmos 2006-07-28-01 バスエラー (スタックトレースあり)	29
8.8	バグ:ver.B.b14 cosmos 2006-07-28-03 画面表示の乱れ (ポップアップメニューが正常に開かない)	31
第 9 章	ver.B.b14.01 リリースノート	34
9.1	バグ:ver.B.b14.01 gbview,gbstd 2007-02-14-00 gbview,gbstd の機能ロック (HTTP-GATEWAY が反応しなくなる)	34
9.2	バグ:ver.B.b14.01 landscape 2007-02-14-01 landscape の予期せぬ終了 (いつの間にかサーバが停止している)	34
第 10 章	ver.B.b14.02 リリースノート	36
10.1	バグ:ver.B.b14.02 gbview 2007-02-28-01 gbview(起動しない)	36
10.2	バグ:ver.B.b14 cosmos 2006-10-16-02 終了時のエラー (cosmos が終了出来ない)	36
10.3	バグ:ver.B.b14 cosmos 2006-07-28-04 バスエラー (free_query_thread.1)	37
10.4	バグ:ver.B.b14.02 landscape 2006-10-16-01 リンク切れ (時々map のリンクが切れる)	37
第 11 章	ver.B.b14.03 リリースノート	39
11.1	バグ:ver.B.b14.02 xlsv,gbmp,xlock 2007-02-28-00 landscape(しばらくするとサーバがハングする)	39
第 12 章	ver.B.b14.04 リリースノート	40
12.1	チューニング:ver.B.b14.04 HTTP-GATEWAY t2007-03-25-00 コピーライト表示機能	40
12.2	バグ:ver.B.b14.04 gbview,cosmos 2007-03-16-01 gbview がコアダンプする	40
12.3	バグ:ver.B.b14.04 landscape 2007-03-16-02 www/gateway をセットアップ後 CGI が動作しない。	41
12.4	バグ:ver.B.b14.04 gbmh,gbview,cosmos 2007-03-16-00 matrix データ画像にノイズがはいる。 .	41
12.5	バグ:ver.B.b14.03 gbview 2007-02-20-00 HTTP-GATEWAY(初期ターゲットレイヤを直接 URL で指定すると表示がハングする)	42
第 13 章	ver.B.b15 リリースノート	44
13.1	新機能:ver.B.b15 gbmh,lss-script n2007-04-08-00 マトリックス機能の強化	44

13.2	バグ:ver.B.b15 gbm 2007-04-06-00 pgm フォーマットを mtz に変換するとブルーの画像になる	44
13.3	バグ:ver.B.b15 gbm 2007-04-15-00 マトリックスを上書き更新した場合にパニックを起こす。	45
第 14 章 ver.B.b16 リリースノート		46
14.1	新機能:ver.B.b16 landscape,cosmos n2007-05-06-00 認証機能	46
14.2	バグ:ver.B.b16 cosmos,gbview 2007-04-29-00 旧 r64-cr フォーマットの画像を呼び出したときに描画されないときがある。	46
第 15 章 ver.B.b16.01 リリースノート		48
15.1	バグ:ver.B.b16.01 cosmos,gbview 2007-05-11-00 描画時パニックを起す	48
第 16 章 ver.B.b16.02 リリースノート		49
16.1	チューニング:ver.B.b16.02 cosmos t2007-05-20-00 MacOSX Universal Binary - CHIMERA -	49
16.2	バグ:ver.B.b16.02 cosmos,gbview 2006-07-28-00 地図表示の乱れ (同心円化)	49
16.3	バグ:ver.B.b16.02 cosmos 2007-05-11-02 ワープメニュー編集編集ウィンドウでメニューファイルが読込めない	50
16.4	バグ:ver.B.b16.02 cosmos 2007-05-16-00 起動後ネットワークから読込めないワープメニューがある	50
16.5	バグ:ver.B.b16.02 cosmos,gbview 2007-05-19-00 マトリックスデータをアクセスすると停止する	51
第 17 章 ver.B.b16.03 リリースノート		52
17.1	チューニング:ver.B.b16.03 cosmos t2007-05-31-00 Windows 版ユーザインタフェースの高速化	52
17.2	チューニング:ver.B.b16.03 cosmos t2007-06-04-00 バージョン情報の表示	52
17.3	チューニング:ver.B.b16.03 cosmos t2007-06-04-01 初期インストール時のローカル処理	53
17.4	チューニング:ver.B.b16.03 cosmos t2007-06-04-02 地図のホームポジションの設定の高機能化	53
第 18 章 ver.B.b16.04 リリースノート		54
18.1	バグ:ver.B.b16.04 cosmos 2007-06-05-00 しばらくすると地図が描画されなくなる	54
第 19 章 ver.B.b16.05 リリースノート		55
19.1	チューニング:ver.B.b16.05 cosmos t2007-06-16-00 p4m.xl スクリプトにおいて、座標軸の違う座標系のマッピング	55
19.2	バグ:ver.B.b16.05 cosmos 2007-06-16-00 COSMOS 終了時、ウィンドウ閉じるときのアクセスエラー等	55
第 20 章 ver.B.b16.06 リリースノート		56
20.1	チューニング:ver.B.b16.06 cosmos,landscape t2007-06-26-00 インストーラの改良	56
第 21 章 ver.B.b16.07 リリースノート		57
21.1	バグ:ver.B.b16 cosmos 2006-07-28-08 文字化け (std.cm の利用法の間違い)	57
21.2	バグ:ver.B.b16.06 xl worldfile.xl 2006-08-26-00 スクリプトの不具合 (worldfile.xl によってワールドファイルが変換されない)	58
21.3	バグ:ver.B.b16.07 cosmos 2007-05-11-01 ワープメニュー編集画面・詳細 / 書誌情報の編集が保存出来ない	59
21.4	バグ:ver.B.b16.07 cosmos 2007-05-19-01 認証時においてハングを起す	60
21.5	バグ:ver.B.b16.07 cosmos 2007-06-25-00 COSMOS 閲覧時のパニック	60

第 22 章 ver.B.b16.08 リリースノート	62
22.1 チューニング:ver.B.b16.08 cosmos t2007-06-29-00 マトリックス閲覧スピードの改良	62
22.2 チューニング:ver.B.b16.08 cosmos t2007-07-13-00 座標系の表示 / 非表示の記憶その他	62
22.3 バグ:ver.B.b16.08 cosmos 2007-06-29-00 COSMOS 閲覧時のパニック	63
22.4 バグ:ver.B.b16.08 cosmos 2007-06-29-01 メニュー選択時にバスエラーに陥る	63
22.5 バグ:ver.B.b16.08 cosmos 2007-07-13-00 バスエラー各種、ロック各種のバグ	64
第 23 章 ver.B.b16.09 リリースノート	65
23.1 バグ:ver.B.b16.09 cosmos 2007-07-16-00 ダイナミックプロットデータアクセス時の不具合	65
第 24 章 ver.B.b16.10 リリースノート	66
24.1 チューニング:ver.B.b16.10 cosmos t2007-07-23-00 ブラウジングスピードのチューニング	66
24.2 バグ:ver.B.b16.10 cosmos 2007-07-23-00 レイヤの表示自動選択機能の不具合	66
第 25 章 ver.B.b16.11 リリースノート	67
25.1 チューニング:ver.B.b16.11 http-gateway t2007-08-17-00 HTTP-GATEWAY の豊富なデザインをサポート	67
25.2 バグ:ver.B.b16.11 HTTP-GATEWAY 2007-07-23-02 パーチャルホストにおかれた rdf は GATEWAY から参照できない。	67
25.3 バグ:ver.B.b16.11 landscape script 2007-08-25-00 import-images/マトリックスフォーマットが使えない	68
第 26 章 ver.B.b16.09 リリースノート	69
26.1 バグ:ver.B.b16.09 cosmos 2007-07-16-00 ダイナミックプロットデータアクセス時の不具合	69
第 27 章 ver.B.b16.12 リリースノート	70
27.1 チューニング:ver.B.b16.12 cosmos and manuals t2007-09-03-00 英語リリースノートサポート (ヘルプメニュー)	70
27.2 バグ:ver.B.b16.12 landscape script 2007-09-03-00 関数 GetType が正しい値を返さない	70
第 28 章 ver.B.b16.13 リリースノート	71
28.1 バグ:ver.B.b16.13 localbase sample 2007-09-09-00 HTTP-GATEWAY sample 展開ボタンが表示されない	71
28.2 バグ:ver.B.b16.13 landscape-script 2007-09-10-00 worldfile-mtx.xml がない	71
28.3 バグ:ver.B.b16.13 landscape,cosmos 2007-03-28-00 solaris 10 における Landscape ハングアップ	72
28.4 バグ:ver.B.b16.13 all 2007-09-14-00 Linux で通信がハングアップする	72
28.5 バグ:ver.B.b16.13 all 2007-09-17-00 コネクションの接続後停止する	73
第 29 章 ver.B.b16.14 リリースノート	74
29.1 バグ:ver.B.b16.14 all 2007-09-20-00 worldfile.xml がエラーが出て実行できない。	74
29.2 バグ:ver.B.b16.14 HTTP-GATEWAY 2007-10-18-01 HTTP-GATEWAY skeleton/old の不具合	75
29.3 バグ: cosmos 2007-10-18-00 COSMOS のネイティブプロキシを設定すると、HTTP 参照が出来なくなる	75
29.4 バグ:ver.B.b16.14 COSMOS 2007-10-26-00 単位 degree の e2d 型.crd ファイルをアクセスすると画面が白く抜けるときがある	76

第 30 章 ver.B.b16.15 リリースノート	77
30.1 バグ:ver.B.b16.15 COSMOS 2007-11-04-00 progressive polygon データが表示されない。またはバスエラーを起こす	77
30.2 バグ:ver.B.b13.01 http-gateway 2007-02-16-00 http-gateway(IE7 で閲覧するとハングする)	77
第 31 章 ver.B.b17 リリースノート	79
31.1 チューニング:ver.B.b17 gbm, cosmos t2007-12-29-00 スケールデータマトリックスのサポート	79
31.2 バグ:ver.B.b17 COSMOS 2007-10-21-01 英語版において地図上のフォントがとても小さい .	79
31.3 バグ:ver.B.b17 gbview 2008-01-04-00 gbview の出力する vct ファイルにゴミが混じる。 . .	80
第 32 章 ver.B.b17.01 リリースノート	81
32.1 バグ:ver.B.b17.01 gbpm 2008-01-04-01 pm データベースが破壊され、修復されない。そのため座標系が検索されない。	81
第 33 章 HTTP-GATEWAY	82
第 34 章 landscape スクリプト	83
34.1 バグ:2006-06-13-00 分散化問題 (vct ファイルと pp ファイルが異なるサーバに置けない) . .	83
第 35 章 マニュアルスクリプト	84
35.1 バグ:2006-08-16-02 リンクはずれ (複数の場所から参照したバグレポートが HTML 上でリンクはずれ)	84
第 36 章 ALL:cosmos	85
36.1 バグ:2007-04-13-00 「環境設定」でリソースキャッシュ off にすると画像が表示されない . .	85
36.2 バグ:2007-10-21-00 プロキシサーバによっては HTTP プロキシが接続できない	85
第 37 章 ALL:landscape	87
第 38 章 ALL:gbm	88
第 39 章 MacOSX:cosmos	89
39.1 バグ:2006-09-24-01 終了時のエラー (cosmos を閉じずに OS を終了すると OS 終了が出来ない)	89
39.2 バグ:2007-07-23-01 バスエラー (objc_msgSend_rtp)	89
39.3 バグ:2007-11-06-00 COSMOS VTableView のテキスト入力処理に異常をきたす	90
39.4 バグ:2007-11-06-01 日本語名のディレクトリの下に COSMOS アプリケーションをインストールすると COSMOS が動作しない	90
第 40 章 Linux:gbview	91
40.1 バグ:2007-05-28-00 編集画面で座標移動を行うと既に設定されている情報がすべて消える .	91
第 41 章 Linux:svg2pp	92
41.1 バグ:2006-09-24-02 ベクタデータ変換 (svg2pp を使ったデータ変換がバスエラーとなる) . .	92
第 42 章 Windows:cosmos	93
42.1 バグ:2007-05-19-02 クローズボックスで COSMOS を終了するとキャッシュ、ワークメニューがセーブされずに終了する	93
42.2 バグ:2007-09-11-00 ブラウジング中に地図がアップデートされなくなる	93
第 43 章 Solaris:gbpm	95

第1章 はじめに

1.1 目的と概要

このレポートでは ver.B. における各リリースの対応状況を概説する。最初を書くリリースのリリースレポート、続いて、現在発見されているバグについて述べている。

1.2 このマニュアルを読むために必要な知識

特に制限なし。

1.3 前提となるシステム要件

GLOBALBASE のサポートするものすべて。

第2章 Solaris 版 インストール注意事項（全リリース）

第3章 ver.B.b11.01 リリースレポート

3.1 バグ:ver.B.b11.01 cosmos,gbview 2006-07-28-06 パニック (set_outside)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos,gbview / バージョン ver.B.b10 / OS WindowsXP

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos,gbview
- OS WindowsXP,Linux 等 (リトルエンディアンの CPU)
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b11.01

■ 初期報告 (日時:2006-07-27)

パニック set_outside が発生する。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-06-30)

マップリソースをキャッシュにセーブするときのエンディアン処理にバグあり。リトルエンディアンの CPU を使っているときに発生します。

ver.B.b11.01 以降のコードへバージョンアップしてください。バージョンアップ後、起動前に、キャッシュをクリアすることをお勧めします。Windows ですと、My Documentverb+|+|pxlconfverb+|+|cache の中身をすべて捨ててください。localbase 使用時には、xlwork/cache の中身をすべてリムーブしてください。

■ ワークアラウンド

pxlconf を消去して再起動。それでも発生する場合はあきらめる。

■ レポート (著者:森日時:2006-07-28)

map_triangle.c の ts->sts の未初期化

■ レポート (著者:森日時:2006-07-30)

linux 上の gbview で同じ問題が再現。map_triangle.c の ts->sts の未初期化ではない。キャッシュの書き込み時にエンディアン調整が正常になされていないのが原因。

3.2 バグ:ver.B.b11.01 開発環境 2006-07-28-05 開発環境 (clean 命令において pdf などマニュアル関連のゴミが消えない)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント 開発環境 / バージョン ver.B.b11 / OS MacOSX

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント 開発環境
- OS all

- 解決が反映されたバージョン ver.B.b11.01

- 初期報告 (日時:2006-06-13)

clean 命令において pdf などマニュアル関連のゴミが消えない

- 最終報告 (著者:森 日時:2006-06-28)

ver.B.b11.01 以降のコードへバージョンアップしてください。

- ワークアラウンド

手で消してください。

- レポート (著者:森日時:2006-07-28)

消去コードを加えた。

第4章 ver.B.b11.02リリースレポート

4.1 バグ:ver.B.b11.02 cosmos,gbview 2006-07-28-02 画面表示の乱れ(ゴミプロットが現れる)

■ 状態

初期報告: bugs / エージェント cosmos,gbview / バージョン ver.B.b10 / OS MacOSX,linux,WindowXP

作業状況: 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲:

- 対象エージェント cosmos,gbview
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b11.02

■ 初期報告 (日時:2006-06-13)

球面座標系上へのプロットにおいて、move を施した場合、例えば上へ移動した場合、上へ消えたはずのプロットが下から出てくる。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-08-17)

ver.B.b11.02 以降のコードへバージョンアップしてください。

■ ワークアラウンド

ゴミを見たら、ズームイン、ズームアウトするととりあえず解消。

■ レポート (著者:森日時:2006-08-17)

原因は、画面移動時の球面座標系の移動距離の計算が間違っていたこと。バグを修正し、ver.B.b11.02 へ反映する予定。

4.2 バグ:ver.B.b11.02 cosmos 2006-08-16-01 XLエラー停止 (CARD style の書き方によるエラー停止)

■ 状態

初期報告: bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b11 / OS MacOSX

作業状況: 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲:

- 対象エージェント cosmos
- OS 全般
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b11.02

■ 初期報告 (日時:2006-08-16)

card style シートの中でテーブル<TABLE>を使っているとき、TABLE 要素の中に、「xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル」[1]の「XLT_NULL(ヌル型)」が存在すると、peripheral/lib/HTML.xl 内でエラー停止する。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-08-16)

HTML.xl のバグ。修正した。

■ ワークアラウンド

cosmos を ver.B.b11.02 以降にバージョンアップすること。

4.3 バグ:ver.B.b11.02 cosmos 2006-08-16-00 画面表示の乱れ (アンカー付きプロット文字の右縦線が現れる)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b11 / OS MacOSX

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS 全般
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b11.02

■ 初期報告 (日時:2006-08-16)

ver.B. の初期のリリースから存在したバグだが、地図上のアンカー付きプロット文字の右に縦線が出る問題。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-08-16)

text rendaring のバグ。修正した。

■ ワークアラウンド

cosmos を ver.B.b11.02 以降にバージョンアップすること。

4.4 バグ:ver.B.b11.02 gbview 2006-08-07-00 画面表示の乱れ (LOCALBASE)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント localbase / バージョン ver.B.b11 / OS linux

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント gbview
- OS 全般
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b11.02

■ 初期報告 (日時:2006-08-04)

LOCALBASE でレイヤ切り替え時にうまく切り替わらないときがある。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-08-09)

本質的には gbview のバッファ選択のアルゴリズムがレイヤ切り替え時にうまく働いていないこと。HTTP-GATEWAY 側と gbview 側の連携がうまくいっていないことが考えられる。

いくつかのチューニングを行い、レイヤのスイッチングの安定性は向上したと思われる。しかし、いろいろな問題も含んでいる。もともと cosmos では条件レイヤはそんなに頻繁にスイッチングすることを仮定して作っていない。そういったことも背景にある。今後スイッチングに関してさらにチューニングすることは考えられる。一応今回はこれで様子を見ることにする。

■ ワークアラウンド

WWW ブラウザ上のレイヤの表示ボタンをあまりかちかち切り替えない。また、スイッチしない場合は微量に移動してみる。

■ レポート (著者:森日時:2006-08-09)

レイヤが切り替わったときに HTTP-GATEWAY 側の呼び出し間隔が短くならないという問題。

レイヤが切り替わったときに同様、gbview がバッファが前のバッファの状態でデータがフィックスしていると complete で返してしまうという問題。

この辺は、同時に解決する方法として、レイヤが切り替わったときに、強制的に RDF 内のダーティービットをたてるということ。

しかし、上記を施しても、さらにレイヤが切り替わらないことがある。どうも、radar 中のイベント発生タイミングの問題のようでもある。さらに追求。

4.5 バグ:ver.B.b11.02 gbmp 2006-08-04-00 メモリーエクスパイア (gbmp)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント gbmp / バージョン ver.B.b07 / OS linux

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント gbmp
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b11.02

■ 初期報告 (日時:2006-08-04)

gbmp が メモリを食いつぶしている。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-08-04)

メモリーエクスパイアをチェックしました。acrp.c 231 行目のメモリコピーが怪しいということで、考えられる修正を入れました。他にもエクスパイア箇所はあるかもしれませんが、この箇所については解決です。

■ ワークアラウンド

LANDSCAPE サーバをリブートする。

4.6 バグ:ver.B.b11.02 landscape:makefile.xl 2006-08-02-00 無駄なエラー表示 (landscape:makefile.xl)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント gbpmc / バージョン ver.B.b10 / OS linux

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント landscape:makefile.xl
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b11.02

■ 初期報告 (日時:2006-08-02)

LANDSCAPE にてビットマップ登録を行っていますが、以下のエラーが出てきます。

```
<Result> 3 (Error 3 "gbs1.itakura.toyo.ac.jp" "/usr/local/xl-gbs/xlscript/gbs/makefile.xl"
```

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-08-02)

表示されないようにスクリプトを書き換えました。

■ ワークアラウンド

エラー（本来エラーのリスト。エラーそのものではない。）を無視する。

■ レポート (著者:森日時:2006-08-02)

これは、内部の、引数の数を調べるときに発生する無視可能なエラーが表示されてしまっている現象です。これは消すようにします。現在は無視してください。

第5章 ver.B.b12 リリースレポート

5.1 新機能:ver.B.b12 all n2006-09-10-00 XL 関数 (DefineEval)

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b12

■ 要求 (日時:2006-09-10)

マニュアル環境 [2] を複数の言語に対応させるために必要となった関数。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-09-10)

「xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル」 [1] の「DefineEval」を本リリースより追加した。詳しくは、「xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル [1]」を参照のこと。

5.2 新機能:ver.B.b12 all n2006-09-10-01 マニュアル環境 (英語版に対応)

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b12

■ 要求 (日時:2006-09-10)

英語版マニュアルを公開出来る環境が欲しいという要求がある。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-09-10)

そのため、マニュアル環境 [2] に関連した様々なスクリプトを英語版に対応させた。本リリースより対応する。

XL 関数としては、「xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル」 [1] の「DefineEval」が必要となり実装した。

5.3 新機能:ver.B.b12 all n2006-09-10-00 マニュアル環境 (トラッキング機能の強化)

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b12

■ 要求 (日時:2006-09-10)

トラッキングにおいて、バグのみならず新機能の開発のトラッキングも必要と考えられる。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-09-10)

当該機能を強化するために、tracking/item/status タグにおける、report-type 属性を追加。現在 bugs の他 function を実装した。この場合、workaround 要素は無効となる。

5.4 バグ:ver.B.b12 all 2006-09-09-00 エージェントのロック (高負荷状態でロックするエージェントが発生)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント xlock / バージョン ver.B.b11.02 / OS Linux

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b12

■ 初期報告 (日時:2006-09-09)

あるとき、サーバに接続出来なくなった。という現象で始まる。調べてみると、xlock がコネクションが接続出来るものの、その先のオペレーションが全く出来ない状態となっている。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-09-09)

原因は、例えば多数のコネクションが同時に張られたなど高負荷状態で、生成スレッドの数が規定値（現在は 400）を越えた場合に、task.c ライブラリのスレッド生成の抑制ルーチンと、ある種のロックの間で、デッドロックが発生してしまう現象。結果的に、コネクションは新たにはれるものの、その後のオペレーションは、さらなるデッドロックにより行えなくなる。

バグは、ver.B.b12 以降で完全に解決の見通し、バージョンアップをお勧めします。

■ ワークアラウンド

GB サーバをいったん終了、再起動する。

ただし、GB サーバの主要なエージェントがロックしている可能性があり、その場合、終了オペレーションが受け付けられないので、終了することもできなくなる。その場合は、ps -fA | egrep xl で得られるプロセスをひとつずつ kill してください。

5.5 バグ: gbpmmd 2006-07-28-09 永久ロック (gbpmmd ファイル)

■ 状態

初期報告: bugs / エージェント gbpmmd / バージョン ver.B.b07 / OS solaris7

作業状況: 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲:

- 対象エージェント gbpmmd
- OS all
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2006-06-13)

以下バージョンサーバにおいて、

```
0>(GetVersion)
<Result> 1 (("SR.code" "GLOBALBASE.Architecture" "(C) 2000-2005 Hirohisa Mori"
"ver.B.b07(BLAZE)" "2006-1-29") ("MA.code" "posix.solaris.Interface"
"(C) 2000-2005 Hirohisa Mori" "ver.B.b07(BLAZE)" "2006-1-29")
("XL.lang" "XL" "(C) 2000-2002 Hirohisa Mori" "ver.0.1" "2001-10-16")
("XL.proto" "XL" "(C) 2000-2003 Hirohisa Mori" "ver.A.03" "2002-10-1")
("XL.code" "XL.lib" "(C) 2000-2005 Hirohisa Mori" "ver.B.b07(BLAZE)" "2006-1-29"))</Result>
0><Result> 1 </Result>
0>
```

ある、db.pmd で database.c open_db がハング、ロックを取りっぱなしになり全体がロックするバグあり。db.pmd のフォーマットの不整合と考えられるが、原因不明。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-09-10)

同様の現象が他のサーバでも発見された。pmd ファイルが破壊するという原因はわかっていないが、破壊した場合に障害復帰する仕組みは完成した。

■ ワークアラウンド

lock エージェントに接続、ロックし続けている lump ファイルを削除

■ レポート (著者:森 日時:2006-08-07)

isjhp2.nichibun.ac.jp に再び問題発生。システム read のところでロック。勝手にファイルロックがかかっているのではないかと疑っている。

もう一つの観点として、ufr を通らずに read に入っていることがわかった。ということは、open 時の uid の取得の問題か。ファイルロックが open 時にもディテックとされているとすると、やはりファイルロックによるエラーとも考えられる。open 時のエラーコードを取得する方向で追ってみることにする。

■ レポート (著者:森 日時:2006-08-31)

モジュール filespace に、pmd ファイルの先頭部分が破壊して、size=0 のレコードが入っていると無限ループに陥るバグを発見。修正した。なぜファイルが破壊するのは不明。これでコードを入れ替え、様子を見ることにする。問題が発生しなければ、このバグは一応終結。pmd ファイルが破壊する原因は追って追求しなければならないだろう。

5.6 バグ:ver.B.b12 all 2006-09-24-00 開発環境 (mdep に-i,-o など規定のオプション以外のオプションをつけるとそれをファイルと誤認)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント xlock / バージョン ver.B.b11.02 / OS Linux

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント all
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b12

■ 初期報告 (日時:2006-09-24)

GLOBALBASE の開発環境において使われるデペンデンシーチェックツール mdep において、-i,-o など定義されているオプション以外のオプションを使うと、それをファイルと誤認しオープンしようとするが、実際はファイルではないので、オープン出来ずエラーとなる。

mmake の makefile では、gtk2+のオプションを gcc に引数として与え、そのまま、mdep へも引数として与えている。その中には、-D や、-L など、gcc に与えるオプションが含まれている場合があり、この場合これらが上記エラーの対象となってしまう。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-09-24)

mdep の仕様を変更し、”_”で始まる引数はオプションと認識し、定義されていない物は無視するように変えた。ver.B.b12 以降、新しい mdep をコンパイルし、使うようにしてください。

■ ワークアラウンド

第6章 ver.B.b13 リリースレポート

6.1 新機能:ver.B.b13 all n2006-10-16-00 マトリックスフォーマットサポート

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b13

■ 要求 (日時:2006-10-16)

1. ロングファイルに対応した画像フォーマット。
2. ラスタデータとベクタデータを同一のファイルフォーマットで利用可能。
3. 多次元構造の導入。
4. 認証、暗号化のサポート。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-10-16)

要求のうち、機能として1 番目までは完全サポート。2 はラスタとして現在は利用可能。ベクタの機能は実装されていない。3 番は、コードとしては対応している。詳しくは、「gbmx エージェント・リファレンス・マニュアル [3]」および、「LANDSCAPE スクリプト・リファレンス・マニュアル」[4] の「matrix.xl(マトリックス型画像フォーマット処理)」を参照のこと。

6.2 バグ:ver.B.b13 all 2006-10-16-00 ゾンビプロセスが増殖する

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント all / バージョン ver.B. / OS linux

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント all
- OS linux
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b13

■ 初期報告 (日時:2006-10-16)

サーバを起動すると、しばらくすると徐々にゾンビプロセスが増えて行き、最悪は、プロセスが起動出来なくなる。 LANDSCAPE をシャットダウン再起動してもゾンビプロセスは消えない。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-10-16)

LANDSCAPE サーバをシャットダウンしても消すことの出来ないゾンビプロセスは、基本的には OS または、スレッドライブラリのバグである。これは linux のみの見られる特徴である。

いろいろ考察した結果、wait だけを常に発行することにより、子プロセスを監視するのみのスレッドを一つ作ることで、この問題を回避することができた。シグナルを受けて、シグナルハンドラの中で子プロセスを wait する方法も NG である。当該バグは ver.B.b13 で解決されたと考えられる。

■ ワークアラウンド

1 週間等、適当な間隔でサーバをリブートする。ゾンビプロセスは消すことが出来ないので厄介である。

第7章 ver.B.b13.01 リリースレポート

7.1 新機能:ver.B.b13.02 all n2006-11-02-00 マトリックスフォーマットサポート

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b13.02

■ 要求 (日時:2006-11-02)

マニュアル、トラッキング機能に「チューニング」が必要。使い方としては function と同じだが、新機能ではなくチューニング状況を表すもの。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-11-02)

ver.B.b13.02 にて実装。

7.2 チューニング:ver.B.b13.01 all t2006-11-02-00 表示機能の効率の向上

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b13.01

■ 要求 (日時:2006-11-02)

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-11-02)

以前のリリースでは、ラスタ画像のレイヤ表示は4レイヤまでと決まっていたが、4画面分の表示面積になるまでいくつでも表示出来る仕組みになった。小さなラスタ画像が多量にある場合、大きなラスタ画像であっても、解像度の低い状態のものが沢山表示領域に含まれる場合、すべてを効率的に表示出来る機能を実装した。

7.3 チューニング:ver.B.b13.01 all t2006-11-02-00 表示機能の効率の向上

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b13.01

■ 要求 (日時:2006-11-02)

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-11-02)

以前のリリースでは、ラスタ画像のレイヤ表示は4レイヤまでと決まっていたが、4画面分の表示面積になるまでいくつでも表示出来る仕組みになった。小さなラスタ画像が多量にある場合、大きなラスタ画像であっても、解像度の低い状態のものが沢山表示領域に含まれる場合、すべてを効率的に表示出来る機能を実装した。

7.4 バグ:ver.B.b13.01 gbview 2006-10-25-00 gbview のバスエラー (3桁以上の座標系 ID を使うと gbview がコアダンプする)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbview / バージョン ver.B.b13 以前 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbview
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b13.01

■ 初期報告 (日時:2006-10-22)

httpagent.xl や、HTTP-GATEWAY の座標系や条件レイヤの ID に 3 桁以上の座標系 ID を使うと gbview がコアダンプする

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-10-25)

内部のバッファの取り方の問題です。ver.B.b13.01 で解決しました。

■ ワークアラウンド

このバージョンでは、とりあえず 2 桁より少ない ID を指定してください。

7.5 バグ:ver.B.b13.01 gbview 2006-10-22-00 LOCALBASE アクセスで格段に効率が低下するときがある。

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbview / バージョン ver.B.b13 以前 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbview
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b13.01

■ 初期報告 (日時:2006-10-22)

LOCALBASE アクセスで格段に効率が低下するときがある。複数アクセスで格段に低下する。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

HTTP-GATEWAY のバージョンアップ、および、LANDSCAPE のバージョンアップ。ver.B.b13.01 以降にあわせれば問題ない。

■ レポート (著者:森日時:2006-10-22)

ひとつは、HTTP-GATEWAY と gbview の間のやりとりで、RSS_INFO が大きくなると効率低下する。これを解決するには、HTTP-GATEWAY をバージョンアップすること。RSS_INFO の大きさが最適化される。

もうひとつ、特に複数アクセスで効率低下するのは gbview 側で、リクエストが平行動作できなかったため。平行動作を許可するようにコードを書き換えた。

7.6 バグ:ver.B.b13.01 gbmh 2006-10-21-00 gbmh が起動しない

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント gbmh / バージョン ver.B.b13 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント gbmh
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b13.01

■ 初期報告 (日時:2006-10-19)

マトリックスフォーマットの画像を登録し、cosmos でアクセスしても、gbmh が起動しない。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

xlscript/std/agent.prefix.xml に、

```
<SetPrefixMode xldoc="precedence"> .mtx gbmh lod Get </SetPrefixMode>
```

の行を追加。xlscript/gbs のディレクトリにて、a_gbstd.xml を a_gbmh.xml にコピーし、ファイル中、gbstd のところを gbmh に変更。xlconf/std/agent.definition.xml において、

```
<DefineAgent passwd="anonymous" dircheck="on">
  nichibun.ac.jp
```

```

gbmx
user
  <CurrentEnvironment/>
  <Lambda Order="Applicative"> ()
    <Arguments> ^host ^agent ^mode ^user </Arguments>
    (+ "gbmx xlscrip/gbs/a_gbm.xml / " mode " " user)
  </Lambda>
</DefineAgent>

```

を追加。

■ レポート (著者:森日時:2006-10-21)

基本的に、gbmx 関連のスクリプトが不完全ということ。次のリリースで対応。

7.7 バグ:ver.B.b13.01 xlsv 2006-10-19-00 エラーディテクションの不足 (HttpAgent の設定内容にエラーがあっても、表示されない)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント xlsv / バージョン ver.B.b13 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント xlsv
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b13.01

■ 初期報告 (日時:2006-10-19)

httpagent.xml において、HttpAgent に設定した、検索条件内にシンタックスエラーがあっても、HttpAgent のエラーとしてかえらない。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

ver.B.b13.01 以降にバージョンアップのこと。

■ レポート (著者:森日時:2006-10-19)

原因は、NORMAL 評価型の HttpAgent で内部要素に発生したエラーをチェックせずにシステムに検索条件として渡していたこと。チェックルーチンを入れることで解決。

第8章 ver.B.b14 リリースレポート

8.1 新機能:ver.B.b14 COSMOS n2007-02-10-02 基本的なメニューの充実

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント COSMOS
- OS MacOSX,Windows
- 実装バージョン ver.B.b14

■ 要求 (日時:2007-02-10)

1. 基本的なメニューが充実しました。
2. カットアンドペースト、および、ウィンドウの選択、ヘルプメニュー。
3. ヘルプメニューは、GLOBALBASE のホームページとリンクしており、今後は、各機能についてどんどん説明を充実させる予定で居ます。
4. 中でもワーブメニューは、一種のブックマークの機能であり、便利である。 8.4 節を参照のこと。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-02-10)

メニューについての詳しい情報は、「COSMOS リファレンス・マニュアル」[5]の「基本メニューリファレンス」を参照のこと。

8.2 新機能:ver.B.b14 COSMOS n2007-02-10-01 ワーブポイントメニュー

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント COSMOS
- OS Windows,MacOSX
- 実装バージョン ver.B.b14

■ 要求 (日時:2007-02-10)

1. いまブラウザウィンドウに表示している場所を記憶し、メニュー化することが出来ます。Web ブラウザのブックマークのような機能です。これをワープポイントメニューと言います。
2. ワープポイントメニューを編集することが出来ます。
3. 記憶したメニューおよび、編集したワープポイントメニューはユーザ設定に記憶され次回からもメニューに現れます。
4. 記憶したメニューを別ファイルとして書き出すことが出来ます。
5. 書き出したメニューを Web サーバなどへ登録すると、ネットワークでメニューを共有することが出来ます。共有メニューはワープポイントメニュー編集ウィンドウにて指定することが出来ます。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-02-10)

詳しくは、「COSMOS リファレンス・マニュアル」[5]の「ワープメニュー」および、「COSMOS リファレンス・マニュアル」[5]の「ワープポイントメニュー編集ウィンドウ」を参照してください。

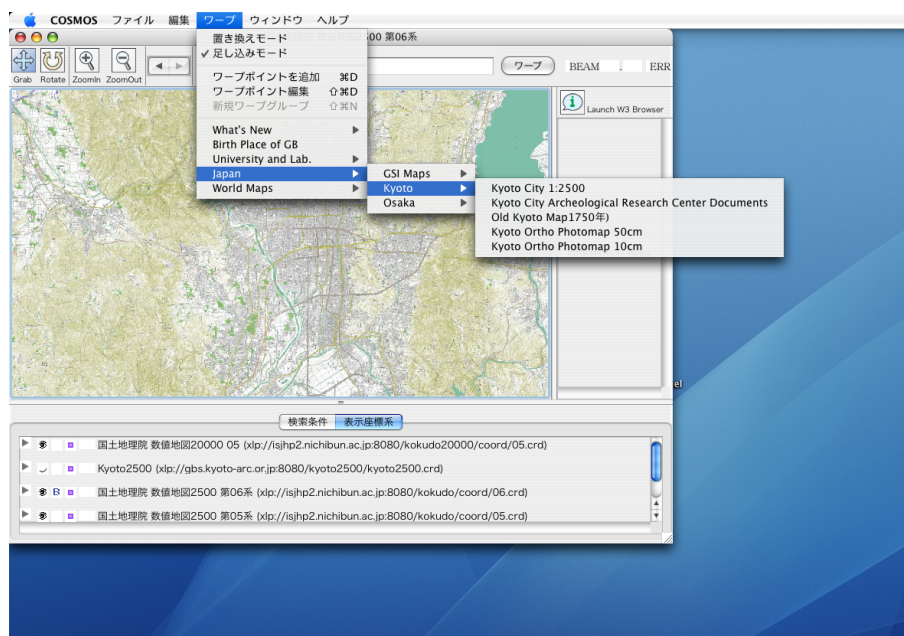


図 8.1: ワープメニュー

8.3 新機能:ver.B.b14 COSMOS n2007-02-10-03 ワープボックス

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント COSMOS
- OS MacOSX, Windows
- 実装バージョン ver.B.b14

■ 要求 (日時:2007-02-10)

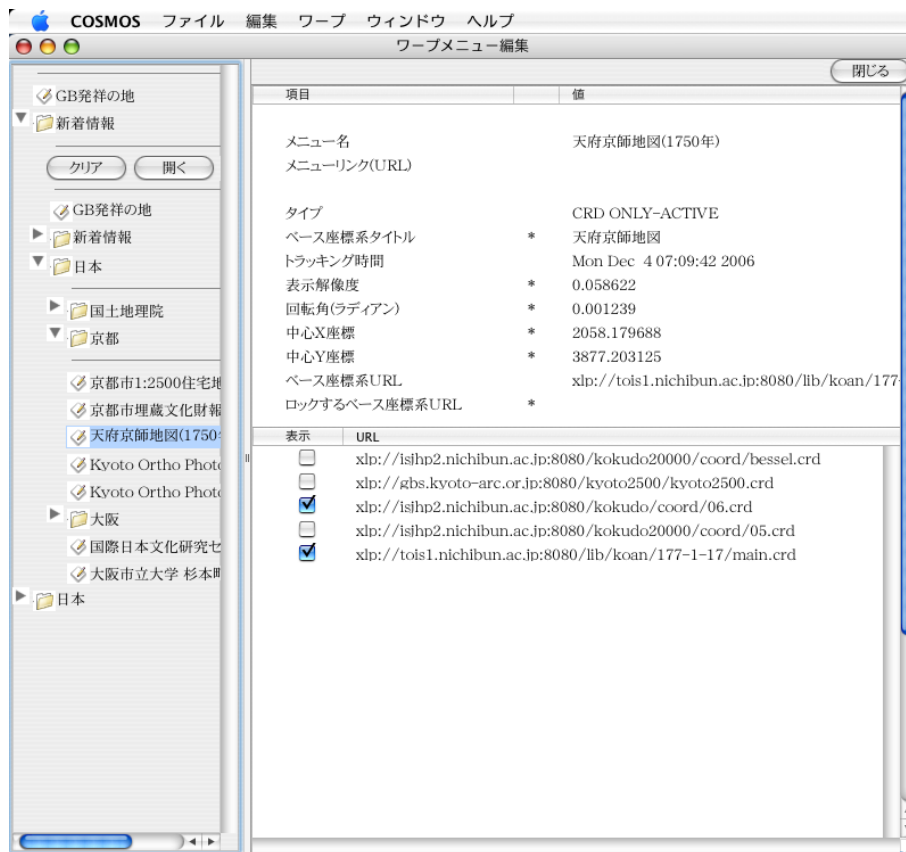


図 8.2: ワープメニュー編集画面

1. ワープする先の URL を記入しワープする機能。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-02-10)

ブラウザウィンドウの上部にあるテキストボックスでここに座標系の URL を書き込み「ワープ」ボタンを押すと、その URL へ飛んで行く機能です。今後は、ここに地名などを記入し地名を検索、ワープが出来る検索機能を付加して行く予定。

8.4 新機能:ver.B.b14 COSMOS n2007-02-10-00 履歴機能機能

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント COSMOS
- OS Windows,MacOSX
- 実装バージョン ver.B.b14

■ 要求 (日時:2007-02-10)

1. ブラウズにより移動して行く各ポイントを記憶する。メインウィンドウの上部にある履歴矢印ボタンで過去にたどってきた場所へ戻ることが出来る。

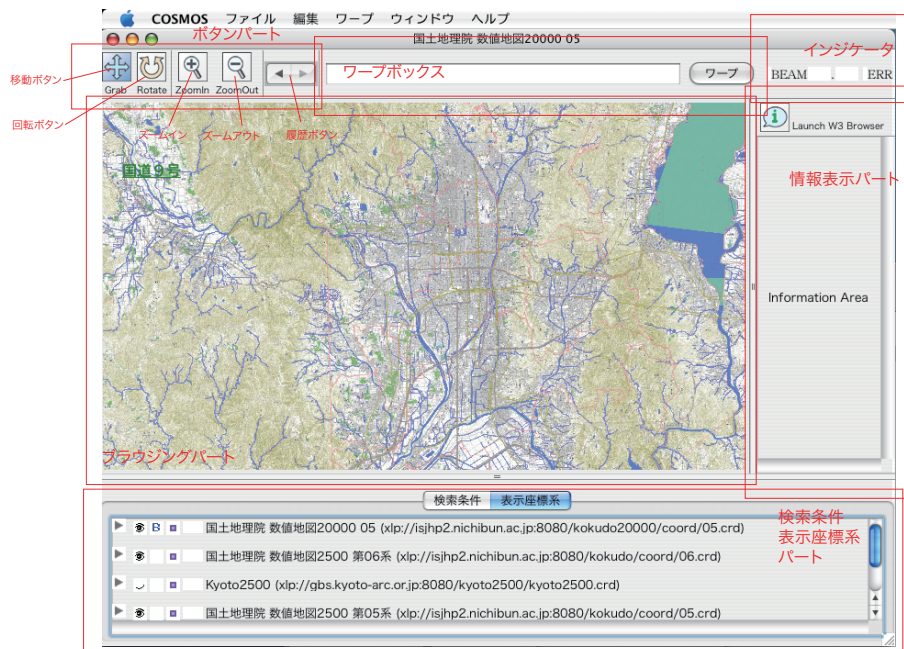


図 8.3: ブラウザウィンドウ

2. 将来的には、過去の履歴のリストを表示し、いきなりそこへジャンプする機能もつける予定。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-02-10)

履歴矢印は、ブラウザウィンドウ上部にあります。詳しくは、「COSMOS リファレンス・マニュアル」[5] の「ブラウザウィンドウ」を参照のこと。

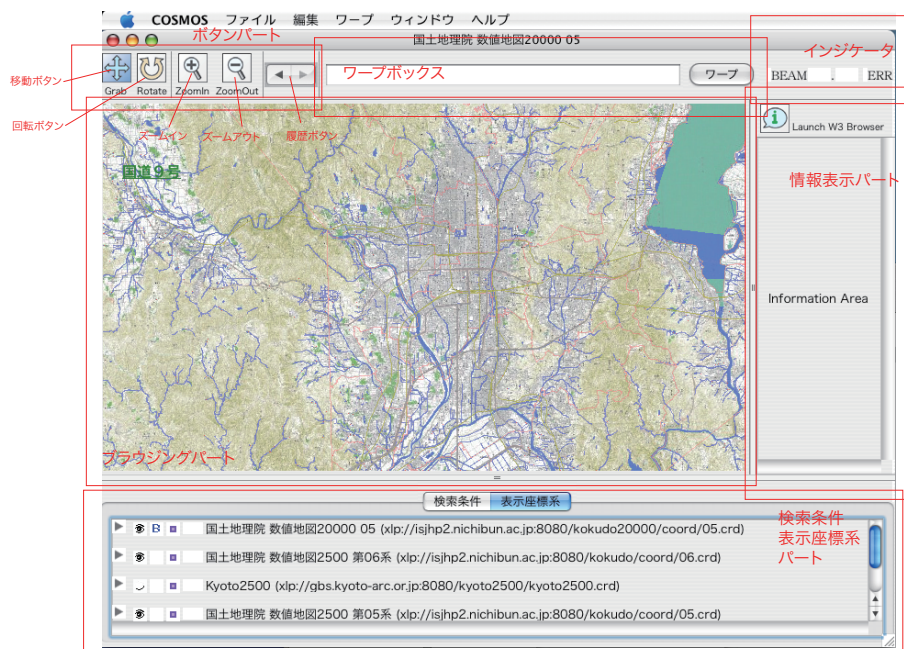


図 8.4: ブラウザウィンドウ

8.5 新機能:ver.B.b14 HTTP-GATEWAY n2007-02-10-04 GATEWAY-COSMOS 連携機能

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント HTTP-GATEWAY
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b14

■ 要求 (日時:2007-02-10)

1. Web ゲートウェイで表示されている地理情報を COSMOS ブラウザへ取り込むことが出来る機能。
2. Web ゲートウェイ下部に新しく加わった「COSMOS へトラックバック」ボタンを押すと、COSMOS が立ち上がり、COSMOS 上に現在ゲートウェイに表示されている地図が移る。(COSMOS 側は、ver.B.b14.01 より有効)
3. 同様 Web ゲートウェイ下部に、COSMOS の最新バージョンを表示し、COSMOS がダウンロード出来る仕組み。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-02-10)

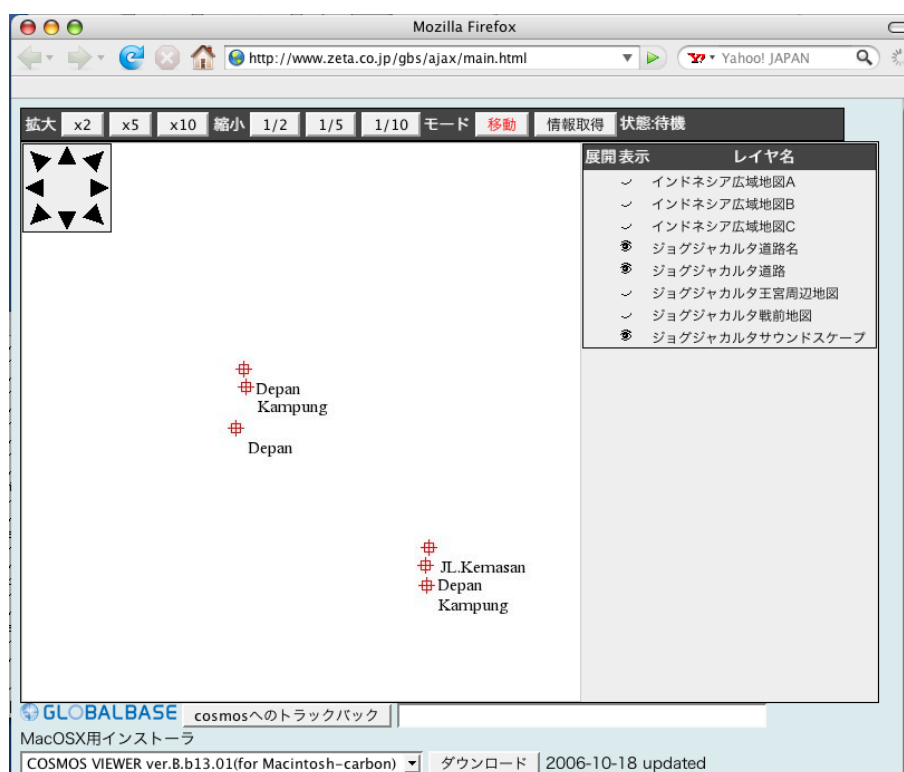


図 8.5: トラックバック機能と COSMOS ダウンロード

8.6 チューニング:ver.B.b14 HTTP-GATEWAY t2007-02-10-00 HTTP-GATEWAY の FireFox,Safari への対応

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント HTTP-GATEWAY
- OS Windows,MacOSX
- 実装バージョン ver.B.b14

■ 要求 (日時:2007-02-10)

1. HTTP-GATEWAY はいままで、IE および、Netscape のみで利用可能であった。今回これに、Fire-Fox,Safari を対応させた。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-02-10)

Safari においてはまだ若干バグがあるので注意。

8.7 バグ:ver.B.b14 cosmos 2006-07-28-01 バスエラー (スタックトレースあり)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b10 / OS MacOSX

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14

■ 初期報告 (日時:2006-06-13)

cosmos のコアダンプ。

```
#14    0x00185e68 in vobj_eval_child at vobj_utils.cpp:1137
#15    0x00188058 in vobj_VAlignView at vobj_VAlignView.cpp:50
#16    0x004109e8 in eval_pair at eval.c:677
#17    0x00410fc0 in eval at eval.c:765
#18    0x00185e68 in vobj_eval_child at vobj_utils.cpp:1137
#19    0x00188058 in vobj_VAlignView at vobj_VAlignView.cpp:50
#20    0x004109e8 in eval_pair at eval.c:677
#21    0x00410fc0 in eval at eval.c:765
#22    0x00185e68 in vobj_eval_child at vobj_utils.cpp:1137
#23    0x0018db64 in vobj_VGroupBox at vobj_VGroupBox.cpp:64
#24    0x004109e8 in eval_pair at eval.c:677
```

```

#25    0x00410fc0 in eval at eval.c:765
#26    0x00185e68 in vobj_eval_child at vobj_utils.cpp:1137
#27    0x001914f8 in vobj_VWindow at vobj_VWindow.cpp:116
#28    0x004109e8 in eval_pair at eval.c:677
#29    0x00410fc0 in eval at eval.c:765
#30    0x00185e68 in vobj_eval_child at vobj_utils.cpp:1137
#31    0x0017e284 in vobj_vobjTarget at vobj_status.cpp:201
#32    0x004109e8 in eval_pair at eval.c:677
#33    0x00410fc0 in eval at eval.c:765
#34    0x001aee00 in xl_Let at _Let.c:110
#35    0x004109e8 in eval_pair at eval.c:677
#36    0x00410fc0 in eval at eval.c:765
#37    0x00410cd4 in eval_pair at eval.c:713
#38    0x00410fc0 in eval at eval.c:765
#39    0x001fc010 in VgbQueryIndicate::_qind_edit_handler at VgbQueryIndicate.cpp:710
#40    0x001fbdd4 in qind_edit_handler at VgbQueryIndicate.cpp:673
#41    0x001701d8 in vq_event_task at v_queue.cpp:114
#42    0x0010b190 in pass_data_to_task_func at task.cp:468
#43    0x002e88ac in LSimpleThread::Run at LSimpleThread.cp:42
#44    0x00119194 in LThread::DoEntry at MyLThreadLow.cp:168
#45    0x90bedfac in InvokeThreadEntryUPP
#46    0x90bedbcc in CooperativeThread
#47    0x9002bc28 in _pthread_body

```

LCommander.cpp

```

// -----
//      ?SetSuperCommander
// -----

void
LCommander::SetSuperCommander(
    LCommander*      inSuper)
{
    if (mSuperCommander != nil) {
        mSuperCommander->RemoveSubCommander(this);
    }

    mSuperCommander = inSuper;

    if (inSuper != nil) {
>>>        inSuper->AddSubCommander(this);
    }
}

```

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-02-10)

おそらく、ウィンドウシステムのデバッグにより ver.B.b14 において、解決されたと思われる。

■ ワークアラウンド

再起動

8.8 バグ:ver.B.b14 cosmos 2006-07-28-03 画面表示の乱れ (ポップアップメニューが正常に開かない)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b10 / OS WindowsXP

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS WindowsXP
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14

■ 初期報告 (日時:2006-06-13)

ポップアップメニューがきかない。(ポップアップが表示されない)

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-02-10)

ウィンドウシステムのデバッグにより ver.B.b14 において、解決された。

■ ワークアラウンド

ポップアップを選択後、上下矢印キーでメニューを変えることは出来る。

■ レポート (著者:中島日時:2006-07-28)

同じく再現しています。

もしかしましたら、こちらでは VisualStudio.Net2005 の方でコンパイルしてありますので、このコンパイル環境に依存して、この現象が起きているのではと思います。

一応、選択するだけでしたら ↑ ↓ キーで出来ることは出来ますが、何かどこかで設定しなければならない設定が抜けているような感じです。

>> 中島様、関山様

>>

>> 今回のコードは、GB の地図に貼付けたビットマップ画像のクリッピングの問題を

>> 処理、解決したところをテストしたいので、問題なのですが、この送ってくれた

>> コードでは、plot のポップダウンメニューが再び、見えない状況が生じているよ

>> うです。

>> 中島さんのところではどうですか？

>> いったいこれは何でしょう。何らか未設定のパラメータがランダムに入るゴミに

>> よって揺らいでいるような感じもします。

>>

>> 森 ひろひさ

>>

>> TomohitoNakajima wrote:

>>

```

>
>>>> 森先生
>>>>
>>>>bra-joshua-html-1 での windows インストーラ作成しました。
>>>>
>>>> *私はこれから一日外に出てしまいますので、本日中の対応はもう出来ないかと
>>>> 思います。
>>>>
>>>>
>>
>>>>>> 修正コードをおとといコミットしていますが、cosmos のコンパイルはいかがで
>>>>>> しょうか。月曜日にはテストで学生たちに使わせてみたいのですが。
>>>>>>
>>>>>> 森 ひろひさ

```

```

/*****

```

```

中島 智人
株式会社ゼータ

```

```

*****/

```

```

■ レポート (著者:関山日時:2006-07-28)

```

===== 森先生、中島様 下記の現象について、ドロップダウンリストの大きさを設定している箇所は、以下のところだったはずです。

```

arch/win/viewlib/winapi/VPopupButton.cpp : line 236

```

```

SetWindowPos(hwnd, NULL, 0, 0, sts->min_size.w, 300, SWP_NOZORDER | SWP_NOMOVE); // set dr

```

これで大きさが指定できるというのが結構意外ですが。。大きめに指定しておく勝手に縮小してくれるが、指定の高さ以上になるとスクロールバーを出す、という感じだったと記憶しています。それで、幅は文字列の長さに応じて設定し、高さは 300 ピクセル 固定になっています。

これが効かなくなっているのでしょうか??

On 2006/07/07,at 18:21,TomohitoNakajima wrote:

```

> 森先生
>
> 同じく再現しています。
>
> もしかししましたら、こちらでは VisualStudio.Net2005 の方でコンパイルしていま
> すので、このコンパイル環境に依存して、この現象が起きているのではと思いま
> す。
>
> 一応、選択するだけでしたら ↑ ↓ キーで出来ることは出来ますが、何 かどこかで
> 設定しなければならない設定が抜けているような感じです。
>
>
>> 中島様、関山様
>>
>> 今回のコードは、GB の地図に貼付けたビットマップ画像のクリッピングの問題を

```

>> 処理、解決したところをテストしたいので、問題なのですが、この 送ってくれた
>> コードでは、plot のポップダウンメニューが再び、見えない 状況が生じているよ
>> うです。
>> 中島さんのところではどうですか？
>> いったいこれは何でしょう。何らか未設定のパラメータがランダム に入るゴミに
>> よって揺らいでいるような感じもします。
>>
>> 森 ひろひさ
>>
>> TomohitoNakajima wrote:
>>
>>> 森先生
>>>
>>> bra-joshua-html-1 での windows インストーラ作成しました。
>>>
>>> *私はこれから一日外に出てしまいますので、本日中の対応はもう 出来ないかと
>>> 思います。
>>>
>>>
>>>> 修正コードをおとといコミットしていますが、cosmos のコ ンパイルはいかがで
>>>> しょうか。月曜日にはテストで学生たちに使わせてみたいの です が。
>>>>
>>>> 森 ひろひさ
>
>
> /*****
> 中島 智人
>
> 関山 友輝
> └ Tomoki Sekiyama
> └ <sekiyama@yahoo.co.jp>

第9章 ver.B.b14.01 リリースノート

9.1 バグ:ver.B.b14.01 gbview,gbstd 2007-02-14-00 gbview,gbstd の機能ロック (HTTP-GATEWAY が反応しなくなる)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbview / バージョン ver.B.b13.01 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbview,gbstd
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.01

■ 初期報告 (日時:2007-07-14)

HTTP-GATEWAY をアクセスするとブラウザが固まって GB 側からのレスポンス待ち状態で 通信できない状態となる。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-02-14)

routing 解決時のロックサーバとの通信においてバグがありました。 ver.B.b14.01 で修正。

基本的に gbstd でも発生するはずのバグですが、gbstd の routing を使った動作はユーザには直接見えないので 確認されていないと考えられる。

■ ワークアラウンド

再起動する。根本的には、ver.B.b14.01 へバージョンアップ。

9.2 バグ:ver.B.b14.01 landscape 2007-02-14-01 landscape の予期せぬ終了 (いつの間にかサーバが停止している)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント landscape,xlsv,gbmp / バージョン ver.B.b13.01 / OS solaris8

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント landscape
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.01

■ 初期報告 (日時:2007-02-14)

landscape サーバを立ち上げたあと、2～3 日でサーバが停止する。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-02-14)

これはすべての solaris で起こる物でもなさそうなのであるが、シェルから、landscape を起動した場合、stabilizer プロセスが、シェルの終了と同時に exit してしまうため、サーバの定期再起同時に再起動しないのが原因。

ver.B.b14.01 にて対処の予定。

■ ワークアラウンド

再起動する。根本的には、ver.B.b14.01 へバージョンアップ。

第10章 ver.B.b14.02リリースノート

10.1 バグ:ver.B.b14.02 gbview 2007-02-28-01 gbview(起動しない)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbview / バージョン ver.B.b14.01 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbview
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.02

■ 初期報告 (日時:2007-02-27)

gbview と HTTP-GATEWAY をセットアップすると、gbview が起動直後、エラー停止し、再起動を繰り返す。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-02-28)

サーバスクリプト xlscrip/gbs 内に、gbview_setting.xml が無いために起こる現象。

■ ワークアラウンド

ver.B.b14.02 へバージョンアップしてください。

10.2 バグ:ver.B.b14 cosmos 2006-10-16-02 終了時のエラー (cosmos が終了出来ない)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b11.02 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14

■ 初期報告 (日時:2006-10-16)

cosmos を終了しようとしたときに終了出来ない。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-02-28)

ほぼ、完全にロックしてしまうことは無くなりました。しかしまだ回線の遅いネットワークに接続している場合等に、終了に長時間かかることがあります。そのような場合のために、cosmos 終了時にダイアログを出すことにしました。ダイアログには強制終了ボタンがあり、これにより強制終了させることも可能です。

■ ワークアラウンド

二度「ファイル」「終了」を選択してください。あまりやりすぎるとキャッシュデータが破壊され、次に立ち上げたときに、アクセスが遅くなる可能性があります。

■ レポート (著者:森日時:2006-10-16)

原因は、matrix ファイルの書き出し時に待ち時間が長いということです。時々ロックを起している可能性も観測されています。調査中です。

■ レポート (著者:森日時:2006-10-30)

close_matrix で、ノードトークンが終了するのを待たずに matrix 構造体を解放してしまっていたため、ノードトークンが無い matrix 構造体のロックを待ち続ける、いわゆるデッドロックを発見。おそらくこれが解決して、この問題は解決しそうである。しばらく様子を見てうまく行っていれば、ver.B.b13.01 に反映する予定。

10.3 バグ:ver.B.b14 cosmos 2006-07-28-04 バスエラー (free_query_thread_1)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b10 / OS MacOSX

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14

■ 初期報告 (日時:2006-06-13)

COSMOS mac 版 free_query_thread_1 で二重 free エラー

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-02-28)

radar.c のデバグにより、ver.B.b14 では発生していない。

■ ワークアラウンド

再起動

10.4 バグ:ver.B.b14.02 landscape 2006-10-16-01 リンク切れ (時々 map のリンクが切れる)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b12 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント landscape
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.02

■ 初期報告 (日時:2006-10-16)

時々、map リンクが切れる。特に、多くの画像を貼付けた座標系において、画像がところどころ歯抜け状態になる。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-02-28)

gbmp 中、マッピングファイル制御部分のクリティカルセクションを洗い出しチェックした。現時点では同様な問題は発生していないようだ。

■ ワークアラウンド

問題の座標系にリンクされた map をすべて touch して「LANDSCAPE スクリプト・リファレンス・マニュアル」[4]の「makefile.xl(コンテンツの登録)」を施してください。

■ レポート (著者:森日時:2006-10-16)

おそらく、サーバのシャットダウン時の書き込み制御をきちっと制御していないため、リンクの属性情報の書き込みの途中で終了しているのではないかと疑われる。現在調査中。

■ レポート (著者:森日時:2006-10-19)

src/gbs/mp/mapping.c 中、ping_crd_mapping がライトロックなしで呼び出されていることを発見。これは Set オペレーションとぶつかり、やばいと思う。他にも問題がないか追及中。

第11章 ver.B.b14.03リリースノート

11.1 バグ:ver.B.b14.02 xlsv,gbmp,xllock 2007-02-28-00 landscape(しばらくするとサーバがハングする)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント xlsv,gbmp,xllock / バージョン ver.B.b14.01 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント xlsv,gbmp,xllock
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.02

■ 初期報告 (日時:2007-02-27)

サーバがしばらくするとハングする。ps によりサーバプロセスをチェックすると、xlsv,gbmp,xllock などサーバ本体のプロセスが大量発生している。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-02-28)

9.2 節のバグ対処が不完全だったのが原因。ver.B.b14.03 で修正している。

■ ワークアラウンド

バージョンを下げるか、または、ver.B.b14.02 へバージョンアップ。

第12章 ver.B.b14.04リリースノート

12.1 チューニング:ver.B.b14.04 HTTP-GATEWAY t2007-03-25-00 コピーライト表示機能

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント HTTP-GATEWAY
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b14.04

■ 要求 (日時:2007-03-25)

1. .crd ファイルの bib 情報に、gb:copyright 要素を追加しました。ここに書かれた情報は、COSMOS などのブラウザでしかるべき場所にコピーライト情報として表示されます。

■ 実装報告

現時点なし。

12.2 バグ:ver.B.b14.04 gbview,cosmos 2007-03-16-01 gbview がコアダンプする

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbview.cosmos / バージョン ver.B.b14.03 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbview,cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.04

■ 初期報告 (日時:2007-03-16)

gbview がコアダンプする。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-03-16)

原因は、http アクセス時の内部パラメータ引き渡しに問題があった。cosmos も同様なバグを持っているはず。

■ ワークアラウンド

ver.B.b14.04 以降へバージョンアップ。

12.3 バグ:ver.B.b14.04 landscape 2007-03-16-02 www/gateway をセットアップ後 CGI が動作しない。

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント landscape / バージョン ver.B.b14.03 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント landscape
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.04

■ 初期報告 (日時:2007-03-16)

www/gateway をセットアップし、動作すると、CGI が動作しない。perl スクリプトが認識されていない。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-03-16)

各 CGI のスクリプト先頭の指定部分が Windows 用になっている。

■ ワークアラウンド

各 CGI のスクリプトの先頭指定部分に perl のパスを加えてやる。

12.4 バグ:ver.B.b14.04 gbm,gbview,cosmos 2007-03-16-00 ma- trix データ画像にノイズがはいる。

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbm,gbview,cosmos / バージョン ver.B.b14.03 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbm,gbview,cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.04

■ 初期報告 (日時:2007-03-16)

大規模な画像を matrix データへ変換すると、機械的な黒い四角が大量にはいる。■■■■■■■■■■

■■■■■■■■■■という感じである。

■ 最終報告 (著者:森洋久 日時:2007-03-22)

マトリックスフォーマットの階層構造における親ブロックの中にある子ブロックのリストを生成する部分に、クリティカルセクションのバグがあった。タイミングに寄っては子ブロックリストが正しく生成されず、子ブロックがあるのに無いと認識され、子ブロックが黒い正方形となる。

マトリックスの書き込みを行うエージェントにはすべてこのバグが存在する。cosmos や gbview もこれらのキャッシュに対して書き込みを行っているので、同様なバグが存在する。

cosmos でズームインしても解像度が上がらない現象が以前から報告されていた。いったんズームアウトしてもう一度ズームインするとなおったりする。おそらくこれはこのバグであった可能性が高い。

■ ワークアラウンド

ver.B.b14.04 へバージョンアップする。あるいは、pnm-import-over を使って2度書き、3度書きすると、子ブロックが埋まっていく可能性がある。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-03-17)

問題のあるマトリックスの四角いブロックのある場所に対して、

```
$ gbm xterm
0>([gmxGetPoint mode="block" channel="8"] "europe.mtx" (List 0 30784 19905))
<Result> 3 ^
%E
("localhost" "stdio" 3 "mxCH" 0x80040501
("invalid object in channel of NODE" "channel data not exist" (0 (0 30720 19840))))</Result>
0>([gmxGetPoint mode="block" channel="8"] "europe.mtx" (List 0 (+ 30784 128) 19905))
<Result> 4 <data>(0 30848 19840) ^#1f35#</data></Result>
0>([gmxGetPoint mode="block" channel="9"] "europe.mtx" (List 0 (+ 30784 128) 19905))
insert purge matrix
<Result> 5 <data>(0 30848 19840) ^#1000c#</data></Result>
0>([gmxGetPoint mode="block" channel="9"] "europe.mtx" (List 0 30784 19905))
_start_file_access europe.mtx
C
insert purge matrix
<Result> 1 <data>(0 30720 19840) ^#1000c#</data></Result>
0>
0>([gmxGetPoint mode="block" channel="9"] "europe.mtx" (List 1 30784 19905))
insert purge matrix
_start_file_access europe.mtx
C
<Result> 2 <data>(1 30720 19456) ^#1000c#</data></Result>
0>([gmxGetPoint mode="block" channel="8"] "europe.mtx" (List 1 30784 19905))
<Result> 3 <data>(1 30720 19456) ^#eb7#</data></Result>
0>
```

この実験からみると、問題のあるブロック (List 03078419905) においては、被圧縮データ (CH="9") は存在するが、圧縮データ (CH="8") が存在しない。その他のブロック、たとえば、隣のブロック、 (List 03091219905) あるいは、一段上のブロック (List 13078412819905) においては両方とも存在する。

以上の考察により、おそらく、gbmx のデータの階層化、圧縮データ作成部分で何らかの問題が発生していると考えられる。

12.5 バグ:ver.B.b14.03 gbview 2007-02-20-00 HTTP-GATEWAY(初期ターゲットレイヤを直接 URL で指定すると表示がハングする)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント gbview / バージョン ver.B.b14.04 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント gbview

- OS all

- 解決が反映されたバージョン ver.B.b14.03

- 初期報告 (日時:2007-02-20)

HTTP-GATEWAY で初期ターゲット座標系 (.crd) を直接 URL で指定すると、描画中にハングする時がある。HTTP-GATEWAY のログを見ると、URL の t=要素のタイプしてi部分に NaN が入る。

- 最終報告

現時点なし。

- ワークアラウンド

条件設定で表示レイヤーを設定する。

- レポート (著者:森日時:2007-03-03)

いったんは最終報告を出しましたが、まだエラーが発生することを確認しました。現在対処中。

第13章 ver.B.b15 リリースノート

13.1 新機能:ver.B.b15 gbm, lss-script n2007-04-08-00 マトリックス機能の強化

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント gbm, lss-script
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b15

■ 要求 (日時:2007-02-10)

1. copy-mtx

マトリックスのある特定のチャンネルだけ別のマトリックスファイルへコピーする機能。

2. scan-network 機能

ネットワーク上の複数の座標系をスキャンし、一つのマトリックスファイルへおさめる機能。

いずれも、「LANDSCAPE スクリプト・リファレンス・マニュアル」[4]の「matrix.xl(マトリックス型画像フォーマット処理)」を参照。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-04-80)

マトリックスファイルを生成するときに、r64系のフォーマットと違い、作業エリアを最終的なマトリックスファイルの中に作る。そのためマトリックスは、生成後も編集可能となるメリットもある反面、ディスク容量を消費する。編集を行わないことが分かっているマトリックスファイルは純粹に配信するデータのみを取り出し、容量を小さくするため、チャンネルのコピー機能を実装した。

一方、ネットワーク上の複数のデータをアクセスし、1枚の巨大な画像にする scan-network 機能を実装した。巨大画像の印刷や、複数の座標系をまとめてアクセスの効率化を計ったりするのに利用可能である。

13.2 バグ:ver.B.b15 gbm 2007-04-06-00 pgm フォーマットを mtx に変換するとブルーの画像になる

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbm / バージョン ver.B.b14.04 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbm

- OS all

- 解決が反映されたバージョン ver.B.b15

■ 初期報告 (日時:2007-04-06)

pgm フォーマットを mtz に変換し、cosmos で閲覧するとブルーの画像になる。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-04-13)

修正されていることを確認。

■ ワークアラウンド

pgm を ppm に変換し、mtz へ変換すればよい。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-04-06)

観測された。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-04-08)

可能性のあるところを訂正。実験は行っていない。おそらく、GRAY を RGBA にコピーするときに、GBA にコピーしているのだろう。出来上がる色は青というよりは緑青。

13.3 バグ:ver.B.b15 gbmz 2007-04-15-00 マトリックスを上書き更新した場合にパニックを起こす。

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント gbmz / バージョン ver.B.b14.04 / OS linux

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント gbmz

- OS linux

- 解決が反映されたバージョン ver.B.b15

■ 初期報告 (日時:2007-04-15)

マトリックスファイルの長さが 2^{32} を越えているとき、matrix.xl の import-pnm-over などを使って上書き更新した場合、パニックを起す。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-04-15)

マトリックスファイルの一番ファイルの終端のレコードの削除、追加が行われるときに、ファイルの長さが調節される。この調節機構が 64bit ファイル長に対応していなかった。対応を計り、ver.B.b15 に反映。

■ ワークアラウンド

ver.B.b15 へバージョンアップしてください。

第14章 ver.B.b16 リリースノート

14.1 新機能:ver.B.b16 landscape,cosmos n2007-05-06-00 認証機能

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント landscape,cosmos
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b16

■ 要求 (日時:2007-02-10)

1. コンテンツを選択的にサーバより送出する認証機能を充実。

認証の掛け方については、「xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル」[1]の「XL 認証関数」を参照のこと。

COSMOS による認証の仕方は、「COSMOS リファレンス・マニュアル」[5]の「認証ダイアログウィンドウ」を参照のこと。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2006-05-06)

今後の地理情報の従量制配信に向けて、新たなる第一歩。現在は固定ユーザ / パスワード方式のみのサポートであるが、今後様々な認証方式を充実させて行く予定。

14.2 バグ:ver.B.b16 cosmos,gbview 2007-04-29-00 旧r64-cr フォーマットの画像を呼び出したときに描画されないときがある。

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b15 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos,gbview
- OS linux
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16

■ 初期報告 (日時:2007-04-29)

r64-cr フォーマットの画像を貼付けた座標系を呼び出すと、描画されないときがある。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-04-29)

旧 r64-cr フォーマットの内部構造体を初期化するときに、描画イベントを発生させていない買った。初期化のタイミングが若干遅れると、描画ダーティービットがアクティブにならずそのまま描画されない状態がつづく。ver.B.b16 で解決を反映させる。

■ ワークアラウンド

ズームイン、ズームアウト、あるいは移動を試みると表示される。

第15章 ver.B.b16.01 リリースノート

15.1 バグ:ver.B.b16.01 cosmos,gbview 2007-05-11-00 描画時パニックを起す

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbview,cosmos / バージョン ver.B.b16 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos,gbview
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.01

■ 初期報告 (日時:2007-05-11)

gbview で描画中にパニックを起し停止する。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-05-11)

ver.B.b16 においてエンバグしてしまったもの。ver.B.b16.01 で修正。ロックを2重に解放していた問題。

■ ワークアラウンド

バージョンを ver.B.b15 以下に下げる。または、ver.B.b16.01 へバージョンアップする。

第16章 ver.B.b16.02リリースノート

16.1 チューニング:ver.B.b16.02 cosmos t2007-05-20-00 MacOSX Universal Binary - CHIMERA -

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX
- 実装バージョン ver.B.b16.02

■ 要求 (日時:2007-05-20)

1. MacOSX Universal Binary に対応。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-05-26)

特に問題ない様子なので思い切ってリリースします。IntelMac のスピードは最高です。

これは現在 Darwin Thread と PowerPlant Thread の双方を同時に動かすバージョンとなっています。名付けて CHIMERA。

16.2 バグ:ver.B.b16.02 cosmos,gbview 2006-07-28-00 地図表示の乱れ(同心円化)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos,gbview / バージョン ver.B.b10 / OS MacOSX,WindowsXP

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos,gbview
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.02

■ 初期報告 (日時:2006-06-13)

globalmap の表示ですが、日文研の地球と違って、画像が同心円状にいくつも重なって見え、安定していないように見えますが、原因は何でしょうか？

■ 最終報告 (著者:森洋久 日時:2007-05-15)

表示解像度、回転角はその座標系の赤道上における値としている。従って、赤道上に無い場合は、値を変換しなければならない。この辺の操作を怠っていたもの。修正し、ver.B.b16.02 へ反映した。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.02 へバージョンアップする。

■ レポート (著者:森洋久日時:2006-07-28)

同一事象が観測された。

■ レポート (著者:森洋久日時:2007-04-01)

複数の球面座標系を重ねると起こるようである。座標変換時の表示の拡大率の計算時バグがあるようである。

■ レポート (著者:森洋久日時:2007-04-12)

どうも、極地に行くほど状態はわるい。ベース座標の変更が行われているときかとも思われるがそうでもなさそうだ。

16.3 バグ:ver.B.b16.02 cosmos 2007-05-11-02 ワープメニュー編集 編集ウィンドウでメニューファイルが読込めない

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b14.04 / OS WindowsXP

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.02

■ 初期報告 (日時:2007-05-11)

これにはいくつかの類似バグがある。

1. ワープメニュー編集ウィンドウを「別名で保存」を行っても、ファイルが保存されない。
2. マック等で保存したワープメニューファイルを、ワープメニュー編集ウィンドウで、「ファイル」「開く」により開くと、中身が表示されない。
3. マック等でメニューアイテム一つをコピーし、メール等で添付し、ウィンドウズ側でこれをワープメニュー編集ウィンドウにペーストしようともペーストが認識されない。グレースアウトのままである。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-05-26)

マシンファイル名変換おける日本語の問題を訂正。カットアンドペーストに関しては、WPM 型のクリップボードクラスに XL 式からの変換時の問題があり。訂正。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.02 で解決。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-05-19)

マシンファイル名変換おける日本語の問題があることが判明。

16.4 バグ:ver.B.b16.02 cosmos 2007-05-16-00 起動後ネットワーク から読込まれないワープメニューがある

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b14.04 / OS MacOSX,WindowsXP

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX,WindowsXP
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.02

■ 初期報告 (日時:2007-05-16)

ネットワークから読み込まれるワープメニューが複数の場所にカスケードしていた場合、そのメニューの一部が読み込まれない。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

もう一度読み込む。または、ver.B.b16.02 へバージョンアップする。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-05-16)

メニュー読み込み時のファイル名処理関係のコードのバグ。ver.B.b16.02 で修正を反映させた。

16.5 バグ:ver.B.b16.02 cosmos,gbview 2007-05-19-00 マトリックスデータをアクセスすると停止する

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.01 / OS WindowsXP on MacOSX Parallels

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos,gbview
- OS WindowsXP,posix
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.02

■ 初期報告 (日時:2007-05-19)

当初、MacOSX 上における Intel 版 OS エミュレータ Parallels、および BootCamp による COSMOS は動作が不安定である。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-05-26)

当初、MacOSX 上のエミュレータが問題とされていたが、特に CoreDuo 等 2CPU 以上のアーキテクチャで問題が発生することが分かってきた。原因究明の結果、マトリックスを読み込むところにクリティカルセクションの問題があることが判明した。この問題は機種非依存部分にあり、WindowsXP のみならず、posix 系においては発生する可能性がある。原理的には 1CPU でも発生し得るが 2CPU の方が特に並列性が高く問題を踏みやすい。

一方、PowerPlant のタスク制御をやっている MacOSX の cosmos では発生しない。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.02 へバージョンアップしてください。

第17章 ver.B.b16.03リリースノート

17.1 チューニング:ver.B.b16.03 cosmos t2007-05-31-00 Windows 版ユーザインタフェースの高速化

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX
- 実装バージョン ver.B.b16.03

■ 要求 (日時:2007-05-31)

1. Windows 版のユーザインタフェースが時として遅かった原因を突き止め、高速化しました。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-06-04)

高速化がそれほど問題なく実現出来たので ver.B.b16.03 としてリリースします。

その他、Posix 系等にも UI イベント処理系に不具合、劣化原因があったので修正した。

17.2 チューニング:ver.B.b16.03 cosmos t2007-06-04-00 バージョン 情報の表示

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX,Windows,Posix
- 実装バージョン ver.B.b16.03

■ 要求 (日時:2007-06-04)

1. About COSMOS メニューを入れました。Mac ではアプリケーションメニュー、その他では、ヘルプメニューに入っています。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-06-04)

実装済み。

17.3 チューニング:ver.B.b16.03 cosmos t2007-06-04-01 初期インストール時のローケル処理

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX,Windows,Posix
- 実装バージョン ver.B.b16.03

■ 要求 (日時:2007-06-04)

1. 初期インストール時にローケル情報を反映させて、メニュー等の言語を設定します。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-06-04)

実装済み。

17.4 チューニング:ver.B.b16.03 cosmos t2007-06-04-02 地図のホームポジションの設定の高機能化

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX,Windows,Posix
- 実装バージョン ver.B.b16.03

■ 要求 (日時:2007-06-04)

1. ウィンドウをオープンしたときに最初に表示される地図の位置をワープポイントメニューと同じ方式にすることにより、座標による場所の指定、レイヤの表示 / 非表示等 高機能な位置設定が可能になった。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-06-04)

ウィンドウをオープンしたときに最初に表示される地図の位置をワープポイントメニューと同じ方式にすることにより、座標による場所の指定、レイヤの表示 / 非表示等 高機能な位置設定が可能になった。従来型の URL と検索条件によるホームポジションの設定も利用可能である。初期設定画面のホームタブでどちらの方法を使うか選択出来るようになっている。

第18章 ver.B.b16.04リリースノート

18.1 バグ:ver.B.b16.04 cosmos 2007-06-05-00 しばらくすると地図が描画されなくなる

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント MacOSX / バージョン ver.B.b16.03 / OS MacOSX

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.04

■ 初期報告 (日時:2007-06-05)

MacOSX ver.B.b16.02 CHIMERA バージョンについてのみ起こるバグで、しばらくすると地図の表示が止まりそれ以降変化がなくなる現象がある。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-06-06)

原因はスレッドのキメラ化において sleep_task/wakeup_task の処理に不具合があったもの。ver.B.b16.04で修正した。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.04 へバージョンアップする。

第19章 ver.B.b16.05リリースノート

19.1 チューニング:ver.B.b16.05 cosmos t2007-06-16-00 p4m.xl スクリプトにおいて、座標軸の違う座標系のマッピング

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX, Windows, Posix
- 実装バージョン ver.B.b16.05

■ 要求 (日時:2007-06-16)

1. たとえば、src が数学座標系、dest がコンピュータ座標系の場合のマッピングなど、座標軸の違う座標系のマッピングでマッピングが乱れていたのを、修正出来るようにした。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-06-16)

reverse オプションを指定することにより対応が出来るようにした。「LANDSCAPE スクリプト・リファレンス・マニュアル」 [4] の「p4m.xl(4点以上のマッピングの作成)」

19.2 バグ:ver.B.b16.05 cosmos 2007-06-16-00 COSMOS 終了時、ウィンドウ閉じるときのアクセスエラー等

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント MacOSX / バージョン ver.B.b16.04 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.05

■ 初期報告 (日時:2007-06-16)

COSMOS 終了時、ウィンドウを閉じるときにバスエラーなどで落ちる。また、終了時にロックしてしまい終了しない。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-06-16)

ひとつのウィンドウフレームのクローズ時のギャーページコレクションの失敗、および、マトリックスを閉じるときのデッドロック問題が発見された。訂正した。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.05 へバージョンアップする。

第20章 ver.B.b16.06 リリースノート

20.1 チューニング:ver.B.b16.06 cosmos,landscape t2007-06-26-00 インストーラの改良

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos,landscape
- OS MacOSX,Posix
- 実装バージョン ver.B.b16.06

■ 要求 (日時:2007-06-26)

1. MacOSX COSMOS インストーラにおいてパッケージに README を追加しました。
2. Posix COSMOS インストーラにおいてパッケージに README を追加しました。エラーメッセージ出力時の URL の訂正なども行っております。
3. Posix LANDSCAPE インストーラにおいてパッケージに README を追加しました。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-06-26)

各マニュアルのインストール手順も変更してあります。

第21章 ver.B.b16.07リリースノート

21.1 バグ:ver.B.b16 cosmos 2006-07-28-08 文字化け (std_cm の利用法の間違い)

■ 状態

初期報告: bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b10 / OS MacOSX

作業状況: 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲:

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16

■ 初期報告 (日時:2006-06-13)

cosmos において、std_cm を sjis 以外にすると、全体的にユーザインタフェースが文字化けしてしまう。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-06-27)

現時点である程度解決。一応このスレッドは閉じることにする。再び文字化け問題が発見された場合は個別に対応とする。

■ ワークアラウンド

COSMOS を ver.B.b16 以降へバージョンアップする。

■ レポート (著者:関山日時:2006-07-28)

森先生 On 2006/07/06, at 23:15, Hirohisa MORI wrote: > 文字コードの件、結構奥が深いように思いますが。少々確認ですが、 mac では、

> VStaticText や VButton に与える表示用の文字コードとファイル 名の文字コードで

> すが、以下のような認識で良いのでしょうか。

>

>

> Mac 専用の 2 バイトコード (上位一バイトが 0 のときは 1 バイト コードを意味す

> る) を与える。 1 バイトコードや 2 バイトコードがなにを表すかは、与えるフォ

> ントのもつコード系で決まる。

まあそうですね。上位バイトで見分けるというよりは、現在の OS の言語モードによって解釈が変わるとい感じですか。あと、アプリケーションの言語モードという概念があります。これは、メニューや U/I のデフォルトのフォントに反映されます。おまけに、一番手前にあるアプリの言語モードに応じて、Apple メニューの中身の言語も勝手に切り替えたりと行ったこともします。

言語モードは、システム環境設定の言語の優先順位と、アプリが持っている言語リソースで決まります。日本語→英語→フランス語……となっていて、アプリが日本語リソースを持っていれば日本語、日本語がなくて英語があれば英語、...といった具合です。

言語リソースとは、アプリのパッケージを開けて、Contents/Resources/ Japanese.lproj/などのディレクトリです。ディレクトリがあれば、中身がからであってもその言語のリソースを持っていると見なされま

す。また、アプリケーションを Finder で選んで「情報を見る」を選ぶ と、言語リソースの ON/OFF を個別に設定することも出来ます（多 分これは中の言語リソースディレクトリを Resouces ディレクトリ から別のところへ移動している）。

>

> ファイル名の文字コードは UTF8

そうです。ただし、UTF8 といっても、Unicode 3.0.0 (3.1.0?) なので注意が必要です。（合字を使って「ぱ」などを表す etc.）

関山 友輝

〒 Tomoki Sekiyama

■ レポート (著者:中島日時:2006-07-28)

ウィンドウズのファイル进行操作する際のコードは、

2 バイト unicode 文字列を引数とする関数とマルチバイト char 文字列を引数とする関数が、コンパイルオプション次第で切り替えられます。

さらに、マルチバイト char の際の文字エンコードは、OS でデフォルトに指定した 言語に依存して決定されたと思います。

日本語の場合は、Shift_JIS の拡張領域にウィンドウズ機種依存文字を追加した Windows-31J (=CP932) です。おそらく、get_default_cm では、現在 OS で選択されている言語を調べて、それに 対応した cm を返す、というのが完全な実装かと思いますが、 海外の言語の際にどの文字エンコードが対応付けされているのかは良く知りませ ん。

OS 内部では、全て unicode に変換されて処理されています。（現在の言語のデフォルトのエンコード char 文字列からユニコード wchar_t 文字 列に変換するシステムコールがあります）

>> ウィンドウズのファイル名はコードは何なのでしょう。日本語環境以外の場合は

>> どう決められるのでしょうか？

>>

>> 森 ひろひさ

/*****

中島 智人

株式会社ゼータ

*****/

21.2 バグ:ver.B.b16.06 xl worldfile.xl 2006-08-26-00 スクリプトの不具合 (worldfile.xl によってワールドファイルが変換されない)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント xl worldfile.xl / バージョン ver.B.b11 / OS Linux

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント xl worldfile.xl
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.06

■ 初期報告 (日時:2006-08-26)

(<http://globalbase.sourceforge.jp/doc/ja/ht/contents/worldfile.html>) を参照しながら、worldfile.xl の変換を行う。

```
$ xl worldfile.xl -- / direct tif m R1C1.crd
<Result> 1 ()</Result>
<Result> 3 ^mode</Result>
<Result> 5 ^file-list</Result>
<Result> 21 ^convert-to-cr</Result>
<Result> 110 ^gen-lst</Result>
<Result> 139 ^bib-list</Result>
<Result> 208 ^gen-crd</Result>
<Result> 246 ^gen-map</Result>
<Result> 286 ^gen-map-zero</Result>
<Result> 318 ^convert-worldfile</Result>
<Result> 337 ^convert-worldfile-csv</Result>
^"tif"
0
<Result> 363 0</Result>
```

という感じで終了し、エラーはないんですが crd ファイルが書き換えられるとか、cr ファイルを生成するとか まったく変化がないです。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2007-06-28)

ディレクトリの所在認識のバグ、すでにこの時点のバージョンでは修正されている。もう少し前のバージョンでも修正されている。

■ ワークアラウンド

/usr/local/xl-gbs/xlscript/sbin/worldfile.xl を変換するファイルのあるディレクトリにコピーして同様のコマンドを実行してみてください。

ver.B.b16.06 時点では確実に動作する。

21.3 バグ:ver.B.b16.07 cosmos 2007-05-11-01 ワープメニュー編集画面・詳細 / 書誌情報の編集が保存出来ない

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16 / OS WindowsXP

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS WindowsXP
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.07

■ 初期報告 (日時:2007-06-27)

ver.B.b16.07 時点で解決した。ディレクトリ選択メニューの文字コード処理の問題。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

メニューアイテム全体をワードパットなどにコピーし、編集し、再びワーブメニューにメニューとしてペーストする。

21.4 バグ:ver.B.b16.07 cosmos 2007-05-19-01 認証時においてハングを起す

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.01 / OS WindowsXP

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.07

■ 初期報告 (日時:2007-05-19)

認証時「COSMOS リファレンス・マニュアル」[5]の「認証ダイアログウィンドウ」にときどきハングを起し、COSMOS が停止する。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-06-07)

現象が現れなくなったことが報告されている。おそらく原因は、アクセスエラーを起こす matrix データの処理の問題だったと思われる。認証エラーによってマトリックスがロードされない状態から回復した場合にハングを起こす。論理的にはあらゆる OS の COSMOS で同様な現象が発生するはずではある。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.07 へバージョンアップ

■ レポート (著者:森 洋久 日時:2007-05-27)

ハングをおこす原因と思われるいくつかの事象を解決した。ひとつは、大きなダイアログを処理するコードにバスエラーを起す原因があった。また、マトリックスをアクセスしたときに、空のブロックがあった場合にハングを起す可能性があり、これも考えられる。今後解決したかどうか ver.B.b16.02 で様子を見ることにする。

21.5 バグ:ver.B.b16.07 cosmos 2007-06-25-00 COSMOS 閲覧時のパニック

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.06 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.07

- 初期報告 (日時:2007-06-25)

閲覧時、表示の大きさが小さな座標系が数多くある場合に時々、change_base_gf パニックを起こす。

- 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-06-28)

画像表示の処理モードの切り替え部分にバグがあったので修正。

- ワークアラウンド

ver.B.b16.07 へバージョンアップする。

第22章 ver.B.b16.08リリースノート

22.1 チューニング:ver.B.b16.08 cosmos t2007-06-29-00 マトリックス閲覧スピードの改良

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX,Posix
- 実装バージョン ver.B.b16.08

■ 要求 (日時:2007-06-29)

1. matrix 型巨大画像の閲覧スピードの向上。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-06-29)

ver.B.b16.08 で実装済み。

22.2 チューニング:ver.B.b16.08 cosmos t2007-07-13-00 座標系の表示 / 非表示の記憶その他

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> 実装

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b16.08

■ 要求 (日時:2007-07-13)

1. 座標系の表示 / 非表示の記憶機能

ブラウジングをしていて気になることとして、いらない座標系が毎回現れ、それを消す作業が結構面倒だということ。一度ある座標系を、表示座標系タブで消した場合、その状況を記憶しておき、次回、同じ状況になったときには対応する座標系は表示しないようにする機能。もちろん表示座標系タブ上ではリストにあがってくるので、改めて見たくなった場合には表示することが出来る。

「表示」「座標系の表示 / 非表示制御」メニュー

2. マッピング情報の表示

地図のマッピング作業を行っていると、マッピングファイル (.map) のなかのマッピングポイントがどこにあるのか図上で確かめたいときがある。こういった場合に対応するため、マッピング情報を図上に表示する機能を導入した。

「表示」「マッピング情報」メニュー

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-07-13)

ver.B.b16.08 で実装済み。

22.3 バグ:ver.B.b16.08 cosmos 2007-06-29-00 COSMOS 閲覧時のパニック

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.07 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.08

■ 初期報告 (日時:2007-06-29)

閲覧時、free メモリパニックをおこす。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-06-29)

RADAR 中のランプ処理、および、VxlTreeView のロック処理にバグがあった。修正済み。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.08 へバージョンアップする。

22.4 バグ:ver.B.b16.08 cosmos 2007-06-29-01 メニュー選択時にバスエラーに陥る

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.07 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.08

■ 初期報告 (日時:2007-06-29)

MacOSX COSMOS にて、ワークボックスをフォーカスしているときに編集メニュー以外を操作するとバスエラーに陥る。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-06-29)

メニュー処理の機種非依存部分にバグがあり修正した。実は MacOSX 以外も別のエラーが発生する可能性はあるので、他の機種でもバージョンアップすることを奨励する。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.08 へバージョンアップする。

22.5 バグ:ver.B.b16.08 cosmos 2007-07-13-00 バスエラー各種、ロック各種のバグ

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos,gbview / バージョン ver.B.b16.07 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.08

■ 初期報告 (日時:2007-07-13)

COSMOS で発生するバスエラー、および、処理が停止してしまうバグ。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-07-13)

書記報告におけるバグをフィックスしました。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.08 へバージョンアップする。

第23章 ver.B.b16.09 リリースノート

23.1 バグ:ver.B.b16.09 cosmos 2007-07-16-00 ダイナミックプロットデータアクセス時の不具合

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos,gbview / バージョン ver.B.b16.08 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.09

■ 初期報告 (日時:2007-07-16)

GB サーバの背後にある XML データベースをアクセスして得られるプロットデータについて、プロットデータが表示されないという不具合があった。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-07-16)

画像のダーティービットと処理に問題あり改善した。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.09 へバージョンアップする。

第24章 ver.B.b16.10リリースノート

24.1 チューニング:ver.B.b16.10 cosmos t2007-07-23-00 ブラウジング グスビードのチューニング

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b16.10

■ 要求 (日時:2007-07-23)

ブラウジングスピードを調節。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-07-23)

スレッドのプライオリティーの設定を変更。特に Carbon で効果があり。

24.2 バグ:ver.B.b16.10 cosmos 2007-07-23-00 レイヤの表示自動選 択機能の不具合

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.09 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.10

■ 初期報告 (日時:2007-07-23)

レイヤの表示 / 非表示の自動選択機能を有効にしていると、実際に表示されている座標系と、インジケータの目玉の状態が一致しなかったり、あるいは、表示 / 非表示を明示的に指定できなくなったりする問題。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-07-23)

heuristic window frame 機能のバグを訂正。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.10 へバージョンアップする。

第25章 ver.B.b16.11 リリースノート

25.1 チューニング:ver.B.b16.11 http-gateway t2007-08-17-00 HTTP-GATEWAY の豊富なデザインをサポート

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント http-gateway
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b16.11

■ 要求 (日時:2007-08-17)

HTTP-GATEWAY の様々なデザインをサポート。詳しくは、「LOCALBASE セットアップマニュアル [6]」を参照してください。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-08-17)

デザインの種類は、ブラック、レッド、グリーン、ブルー、いろいろなテイストの画面を構成できます。「LOCALBASE セットアップマニュアル」[6]の「HTTP-GATEWAY の表示スタイル」を参照してください。

25.2 バグ:ver.B.b16.11 HTTP-GATEWAY 2007-07-23-02 バーチャルホストにおかれたrdfはGATEWAYから参照できない。

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント HTTP-GATEWAY / バージョン ver.B.b16.10 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント HTTP-GATEWAY
- OS
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.11

■ 初期報告 (日時:2007-07-23)

HTTP-GATEWAY にある、COSMOS ダウンロードボタンが作用しない。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-07-23)

server_conf.pl にダウンロード用 RDF として指定している先のサーバがバーチャルホストである場合このような現象がおこる。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.11 へバージョンアップする。

25.3 バグ:ver.B.b16.11 landscape script 2007-08-25-00 import-images/マトリックスフォーマットが使えない

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント landscape script / バージョン ver.B.b16.10 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント landscape script
- OS
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.11

■ 初期報告 (日時:2007-08-25)

LANDSCAPE のデータ変換スクリプト、import-images.xl の利用時、画像フォーマットとして、mtx を指定すると途中でエラー停止する。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-08-25)

import-images.xl スクリプトの中にバグあり。ver.B.b16.11 で修正済み。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.11 へバージョンアップする。

第26章 ver.B.b16.09リリースノート

26.1 バグ:ver.B.b16.09 cosmos 2007-07-16-00 ダイナミックプロットデータアクセス時の不具合

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos,gbview / バージョン ver.B.b16.08 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.09

■ 初期報告 (日時:2007-07-16)

GB サーバの背後にある XML データベースをアクセスして得られるプロットデータについて、プロットデータが表示されないという不具合があった。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-07-16)

画像のダーティービットと処理に問題あり改善した。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.09 へバージョンアップする。

第27章 ver.B.b16.12リリースノート

27.1 チューニング:ver.B.b16.12 cosmos and manuals t2007-09-03-00 英語リリースノートサポート（ヘルプメニュー）

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント cosmos and manuals
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b16.12

■ 要求 (日時:2007-09-03)

英語版のリリースノートをサポートした。COSMOS のヘルプメニューのリリースノートから参照可能。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-09-03)

実装済み。

27.2 バグ:ver.B.b16.12 landscape script 2007-09-03-00 関数 GetType が正しい値を返さない

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント landscape script / バージョン ver.B.b16.11 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント landscape script
- OS
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.12

■ 初期報告 (日時:2007-09-03)

xl 関数 GetType が正しい値を返さない。バラバラな値が返ってくることが判明した。特に manual スクリプトで影響がでていた。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-09-04)

xl 関数 GetType 型変換のバグを訂正。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.12 へバージョンアップする。

第28章 ver.B.b16.13リリースノート

28.1 バグ:ver.B.b16.13 localbase sample 2007-09-09-00 HTTP-GATEWAY sample 展開ボタンが表示されない

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント localbase sample / バージョン ver.B.b16.11 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント localbase sample
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.13

■ 初期報告 (日時:2007-09-09)

HTTP-GATEWAY サンプル、/usr/local/xl-gbs/xlsamples/www/gateway/packages/aqua の下のサンプルについて、「展開」ボタンが表示されないことが判明。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-09-10)

「展開」ボタン画像を新たに登録。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.13 へバージョンアップする。

28.2 バグ:ver.B.b16.13 landscape-script 2007-09-10-00 worldfile-mtx.xl がない

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント landscape-script / バージョン ver.B.b16.12 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント landscape-script
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.13

■ 初期報告 (日時:2007-09-10)

worldfile-mtx.xl スクリプトが、ver.B.b16.12 のサーバインストーラに入っていないことが判明。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-09-10)

新たに登録した。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.13 へバージョンアップする。

28.3 バグ:ver.B.b16.13 landscape,cosmos 2007-03-28-00 solaris 10におけるLandscapeハングアップ

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント landscape / バージョン ver.B.b14.04 / OS Solaris10

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント landscape,cosmos
- OS Solaris10
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.13

■ 初期報告 (日時:2007-03-28)

Solaris で landscape が正常動作しない。とくに gbmip がしばらくするとハングする。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

OS のバージョンを下げる。

LANDSCAPE のバージョンを ver.B.b16.13 以降へバージョンアップすれば、ワークアラウンドが有効となる。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-03-30)

ハングアップしているときのスタックとレースで OS のコマンド write 時にハングしていることが分かった。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-03-31)

Sun Microsystems のホームページより、Certain Patches on Solaris Systems May Cause a Process to Hang While Waiting to Write Into a Pipe (<http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-26-102614-1>) が、現在起きている症状に酷似している。今後、Solaris 10 patch 118833-22 (<http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-26-118833-22-1>) を試みる。

■ レポート (著者:Hirohisa MORI 日時:2007-04-05)

上記パッチを実施しても問題は解決せず。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-06-27)

現時点最新までのパッチを適用しても問題は解決せず、ワークアラウンドとして、数十秒 write がハングした場合に、強制的にクローズ処理をするルーチンを入れた。現在も Sun Microsystems と原因究明中。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-09-14)

ワークアラウンドに問題があり、一部バグが回避できないことがわかった。これを修正。

28.4 バグ:ver.B.b16.13 all 2007-09-14-00 Linuxで通信がハングアップする

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント all / バージョン ver.B.b16.12 only / OS Linux

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント all
- OS Linux

- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.13

■ 初期報告 (日時:2007-09-14)

Linux サーバに接続し、しばらくすると、データがこなくなる。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-09-14)

あまり大量のデータを一挙に write すると、write 命令がハングアップする場合があるという Linux のバグ。ver.B.b16.12 でデータ通信の最適化を行った際に現れた。データを小分けして write するルーチンを入れた。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.13 のサーバへバージョンアップする。

28.5 バグ:ver.B.b16.13 all 2007-09-17-00 コネクションの接続後停止する

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント xlsx / バージョン ver.B.b16.12 / OS Darwin x86

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント all
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.13

■ 初期報告 (日時:2007-09-17)

サーバに接続直後のコネクションがハングアップする。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-09-17)

最初 Darwin で観測されたが他の OS でも起こりえる。問題は SetAgent 実行により切り替わるソケットへ本来、xlsx が受け取るべきキャラクターが送られており、改行コードが一つずれることがあることがわかった。ver.B.b16.12 の送信の最適化でおこりやすくなったバグだが、それ以前のバージョンでも本質的には発生する可能性がある。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.13 のサーバへバージョンアップする。

第29章 ver.B.b16.14 リリースノート

29.1 バグ:ver.B.b16.14 all 2007-09-20-00 worldfile.xml がエラーが出て実行できない。

■ 状態

初期報告: bugs / エージェント xl / バージョン ver.B.b16.13 / OS all

作業状況: 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲:

- 対象エージェント all
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.14

■ 初期報告 (日時:2007-09-20)

worldfile.xml を実行すると以下のようなエラーが出る。

```
[gbs@gbs3 ~]$ cd public/xldocs/nichibun/H7
[gbs@gbs3 H7]$ xl worldfile.xml - - / csv Shift_JIS H07.csv
<Result> 1 ()</Result>
<Result> 3 ^mode</Result>
<Result> 5 ()</Result>
<Result> 21 ^convert-to-cr</Result>
<Result> 110 ^gen-1st</Result>
<Result> 139 ^bib-list</Result>
<Result> 208 ^gen-crd</Result>
<Result> 246 ^gen-map</Result>
<Result> 286 ^gen-map-zero</Result>
<Result> 318 ^convert-worldfile</Result>
<Result> 337 ^convert-worldfile-csv</Result>
^.character
(".character" "" "small" "" "small" "" "" "" "" "" "")
^.pre.string
(".pre.string" "" "http://www.nichibun.ac.jp/heiankyo/" "" "" "" "" "" "" "" "" "")
<Result> 363 ^
%E
("localhost" "/usr/local/xl-gbs/xlscript/sbin/_csv.xml" 209 "binary
expression(3)" 0x80030806
())</Result>
```

[gbs@gbs3 H7]\$

>

- 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-09-20)

原因は xl 関数 Cast のバグ。修正を行った。

- ワークアラウンド

ver.B.b16.14 のサーバへバージョンアップする。

29.2 バグ:ver.B.b16.14 HTTP-GATEWAY 2007-10-18-01 HTTP-GATEWAY skeleton/old の不具合

- 状態

初期報告 : bugs / エージェント HTTP-GATEWAY / バージョン ver.B.b16.13 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント HTTP-GATEWAY
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.14

- 初期報告 (日時:2007-10-18)

HTTP-GATEWAY の古いスタイルのバージョンアップを目的としたサンプル、/usr/local/xl-gbs/xlsamples/packages/skeleton/old をインストール、あるいは、アップデートすると、表示に不具合が生じる。

- 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-10-18)

ver.B.b16.14 で修正。

- ワークアラウンド

古いバージョン (ver.B.b16.01) の LANDSCAPE の gateway の main.html をコピーする。

29.3 バグ: cosmos 2007-10-18-00 COSMOS のネイティブプロキシを設定すると、HTTP 参照が出来なくなる

- 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.13 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-10-18)

COSMOS のネイティブプロキシを設定すると、HTTP 参照している部分、特に、ワークメニューの参照が出来なくなる。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-10-18)

原因は、remote_session がプロキシ上の HTTP が実装に未対応であったこと。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.14 のサーバへバージョンアップする。

29.4 バグ:ver.B.b16.14 COSMOS 2007-10-26-00 単位 degree の e2d 型.crd ファイルをアクセスすると画面が白く抜けるときがある

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント COSMOS / バージョン ver.B.b16.13 / OS all

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント COSMOS
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.14

■ 初期報告 (日時:2007-10-26)

COSMOS において、単位 degree の e2d 型.crd ファイルをアクセスすると画面が白く抜けるときがある。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-10-26)

座標変換のバグ。修正済み。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.14 にアップデートしてください。

第30章 ver.B.b16.15 リリースノート

30.1 バグ:ver.B.b16.15 COSMOS 2007-11-04-00 progressive polygon データが表示されない。またはバスエラーを起こす

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント COSMOS / バージョン ver.B.b16.14 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント COSMOS
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b16.15

■ 初期報告 (日時:2007-11-04)

COSMOS を起動し、プログレッシブポリゴンデータを読み込もうとすると、表示されないかバスエラーをおこす。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-11-04)

ver.B.b16.14 で行った、float データの double 化によるバグ。プログレッシブポリゴン系の転送系にバイナリが存在し、その浮動小数点のバイト長が不一致になったため。修正済み。

■ ワークアラウンド

ver.B.b16.15 にアップデートしてください。

サーバ側でプログレッシブポリゴンを使っている場合、ver.B.b16.14 のサーバは使わないでください。

30.2 バグ:ver.B.b13.01 http-gateway 2007-02-16-00 http-gateway(IE7 で閲覧するとハングする)

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント http-gateway / バージョン ver.B.b13.01 / OS Windows

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント http-gateway
- OS WindowsXP
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b13.01

■ 初期報告 (日時:2007-02-16)

IE7 を使い、HTTP-GATEWAY を閲覧すると、しばらくすると、ディスクが音をたて、全体がハングする。

- 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-11-06)

現時点の WindowsXP,IE7 では発生しない。IE7 側で解決した模様。

- ワークアラウンド

最新の WindowsXP および IE7 をインストールしてください。

第31章 ver.B.b17 リリースノート

31.1 チューニング:ver.B.b17 gbm, cosmos t2007-12-29-00 スケールデータマトリックスのサポート

■ 状態

作業状況：要求段階 >> 受理 >> 対応中 >> **実装**

機能の実装範囲：

- 対象エージェント gbm, cosmos
- OS all
- 実装バージョン ver.B.b17

■ 要求 (日時:2007-12-29)

RGB マトリックスデータ、plot マトリックスデータの他に、整数、実数をピクセルに与えることが出来るスケールマトリックスデータをサポートした。DEM などを効率よく格納、表示することが出来る。

■ 実装報告 (著者:森 日時:2007-12-29)

実装済み。

31.2 バグ:ver.B.b17 COSMOS 2007-10-21-01 英語版において地図上のフォントがとても小さい

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント COSMOS / バージョン ver.B.b16.13 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> **解決**

報告の影響範囲：

- 対象エージェント COSMOS
- OS Windows
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b17

■ 初期報告 (日時:2007-10-21)

英語版 COSMOS の地図上のフォントがとても小さい。現在原因不明。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-12-29)

Windows 版 COSMOS におけるフォントサイズ指定機能の問題と判明。フォントサイズがハードコーディングされていた。ver.B.b17 で修正。

■ ワークアラウンド

ver.B.b17 へバージョンアップ

31.3 バグ:ver.B.b17 gbview 2008-01-04-00 gbview の出力する vct ファイルにゴミが混じる。

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント gbview / バージョン ver.B.b16.15 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbview
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b17

■ 初期報告 (日時:2008-01-04)

HTTP-GATEWAY の編集モードを使用し、gbview を駆動し、情報を入力すると、生成される vct ファイルにゴミが混じる。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2008-01-04)

gbview の gbview 出力ルーチンのバグ。修正済み。

■ ワークアラウンド

ver.B.b17 へバージョンアップする。

第32章 ver.B.b17.01 リリースノート

32.1 バグ:ver.B.b17.01 gbpmc 2008-01-04-01 pmd データベースが破壊され、修復されない。そのため座標系が検索されない。

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント pmd / バージョン ver.B.b16.12 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント gbpmc
- OS all
- 解決が反映されたバージョン ver.B.b17.01

■ 初期報告 (日時:2008-01-04)

pmd データベースが破壊され、修復されない。そのため、座標系が検索されず、表示されない座標系が表れる。GB サーバのバージョンが低い他のサーバにリンクしている場合は、そちらのサーバの pmd に助けられ問題が回避される。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2008-01-04)

pmd フォーマットの構造体のアライメントの問題。最近 double (8 バイト) データを導入した結果アライメントが崩れた。修正済み。

■ ワークアラウンド

座標系を他のサーバへリンクする。またはバージョンを ver.B.b16.11 以下にするか、ver.B.17.01 へバージョンアップする。

■ レポート (著者:森 洋久 日時:2008-01-07)

まだ、pmd-status コマンドにバグがあり、実際には検索できない状態だった。修正。

第 33 章 HTTP-GATEWAY

第34章 landscape スクリプト

34.1 バグ:2006-06-13-00 分散化問題 (vct ファイルと pp ファイルが異なるサーバに置けない)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント makefile.xl / バージョン ver.B.b10 / OS linux

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント makefile.xl
- OS all
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2006-06-13)

先日送っていただいた国土地理院 2 5 0 0 の地図につきまして、vct の中の pp ファイルの参照を、`xlp://isjhp2.nichibun.ac.jp:8080/kokudo` で始まる絶対参照 に変えまして、`gbs5.itakura.toyo.ac.jp` のマシンで `xl makefile.xl - -` をしました所、以下のエラーが表示されました。

どうも、`xlp://` の絶対パス指定が認識されずに、相対パスで pp ファイルを見にいらしてしまっているようです。

```
pdbstatus xldocs/kokudo2500/08/xlp://isjhp2.nichibun.ac.jp:8080/kokudo/
08/tatemono.pp
<Result> 106 ^
%E
("gbs5.itakura.toyo.ac.jp" "/usr/local/xl-gbs/xlscript/gbs/meta.xl" 575
"Shell" 0x8004021a
(" "cannot open the file xldocs/kokudo2500/08/xlp://isjhp2.nichibun.ac.
jp:8080/kokudo/08/tatemono.pp\n"))</Result>
```

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

とりあえず、現在のところは、同じサーバに pp 本体データも vct ファイルも置くこと。

■ レポート (著者:森洋久日時:2006-06-13)

pdbstatus がネットワークごしに参照出来ないという問題。これを参照出来るようにすることで解決する。

第35章 マニュアルスクリプト

35.1 バグ:2006-08-16-02 リンクはずれ (複数の場所から参照したバグレポートがHTML上でリンクはずれ)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント manual.xl / バージョン ver.B.b11 / OS MacOSX

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント
- OS
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2006-08-16)

バグレポート作成中複数箇所から input で参照されたバグレポートが、HTML へ変換すると、リンクはずれを起こす。

■ 最終報告 (著者:森 日時:2006-08-16)

とりあえず現象が観測されているのみ。

■ ワークアラウンド

リンクの外れていない箇所を探して、リンクをたどるしかない。

第36章 ALL:cosmos

36.1 バグ:2007-04-13-00 「環境設定」でリソースキャッシュoffにすると画像が表示されない

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b14.04 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント
- OS
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-04-13)

COSMOS の環境設定でリソースキャッシュを off に設定すると画像が表示されない。一方書き込み有効に設定すると、画像はキャッシュが参照されるようだ。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

リソースを off にしたい場合はとりあえず、cache を破棄する。

36.2 バグ:2007-10-21-00 プロキシサーバによってはHTTPプロキシが接続できない

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.13 / OS all

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS all
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-10-21)

ある種の HTTP プロキシサーバでは、プロキシを介したコネクションが出来ない。HTTP プロキシサーバの種類によっては通過するデータを一時的にバッファする機能があるらしく。このため、返答が COSMOS に正常に返らないのが原因と見ている。

■ 最終報告

現時点なし。

- ワークアラウンド

ネイティブプロキシーをたてることをお勧めする。

第37章 ALL:landscape

第 38 章 ALL:gbmx

第39章 MacOSX:cosmos

39.1 バグ:2006-09-24-01 終了時のエラー (cosmos を閉じずに OS を終了すると OS 終了が出来ない)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b11.02 / OS MacOSX

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS MacOSX
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2006-09-24)

cosmos を立ち上げたまま、MacOSX を終了すると、OS が終了出来ない。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

cosmos を確実に終了してから OS を終了してください。

■ レポート (著者:森日時:2006-09-24)

cosmos に OS からの終了イベントを受け取る機能がないためです。そのうちに実装します。

39.2 バグ:2007-07-23-01 バスエラー (objc_msgSend_rtp)

■ 状態

初期報告 : bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.09 / OS MacOSX

作業状況 : 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲 :

- 対象エージェント cosmos
- OS
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-07-23)

Mac 版 COSMOS が立ち上げ直後にバスエラーで終了する。

■ 最終報告 (著者:森 洋久 日時:2007-07-23)

原因不明であるが、デバッガで観測するに、関数 objc_msgSend_rtp で停止しており、それ以上の情報が得られない。

■ ワークアラウンド

もう一度立ち上げ直す。

39.3 バグ:2007-11-06-00 COSMOS VTableView のテキスト入力処理に異常をきたす

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント COSMOS / バージョン ver.B.b16.14 / OS MacOSX 10.5

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント COSMOS
- OS all
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-11-06)

COSMOS を MacOSX 10.5 SDK でビルドし、実行すると、VTextView のテキスト入力ボックスが、ウィンドウの外側に飛び出してしまうという問題が発生した。MacOSX 10.4u SDK では発生しないので、現在のリリースでは特に問題なく動く。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

とくになし。

■ レポート (著者:森 洋久日時:2007-12-29)

いまのところ MacOSX 10.4u SDK ですべてコンパイルするようにセッティングしている。

39.4 バグ:2007-11-06-01 日本語名のディレクトリの下に COSMOS アプリケーションをインストールすると COSMOS が動作しない

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント COSMOS / バージョン ver.B.b16.15 / OS MacOSX

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント COSMOS
- OS all
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-11-06)

日本語名のディレクトリの下に COSMOS アプリケーションをインストールすると COSMOS がたちあがらない。peripheral のスクリプトを読み込む際のパスの解決が正常に行われないためと思われる。おそらく、COSMOS のみならず Darwin の XL スクリプトはすべて同じ問題をもっていると考えられる。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

英語名のディレクトリの下にインストールする。

第40章 Linux:gbview

40.1 バグ:2007-05-28-00 編集画面で座標移動を行うと既に設定されている情報がすべて消える

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント HTTP-GATEWAY,gbview / バージョン ver.B.b16 / OS linux

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント HTTP-GATEWAY,gbview
- OS
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-05-28)

HTTP-GATEWAY の編集画面で座標移動（変更）をかけると、既に設定されているメタデータおよび、アイコンの透明背景色の情報がすべてなくなる。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

もう一度書誌情報を設定し直す。

第41章 Linux:svg2pp

41.1 バグ:2006-09-24-02 ベクタデータ変換(svg2ppを使ったデータ変換がバスエラーとなる)

■ 状態

初期報告: bugs / エージェント svg2pp / バージョン ver.B.b11 / OS linux

作業状況: 報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲:

- 対象エージェント svg2pp
- OS
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告(日時:2006-09-24)

シェイプデータについて、svg2pp をつかい、変換行ってみましたところ、svg への変換まではうまく行きましたが、pp に変換する所で、エラーが起きました。このエラーはどういう意味でしょうか。内部コードの PP_LMOVE フラグに関係しているらしい。エラー時のキャプチャ画像は、図 41.1

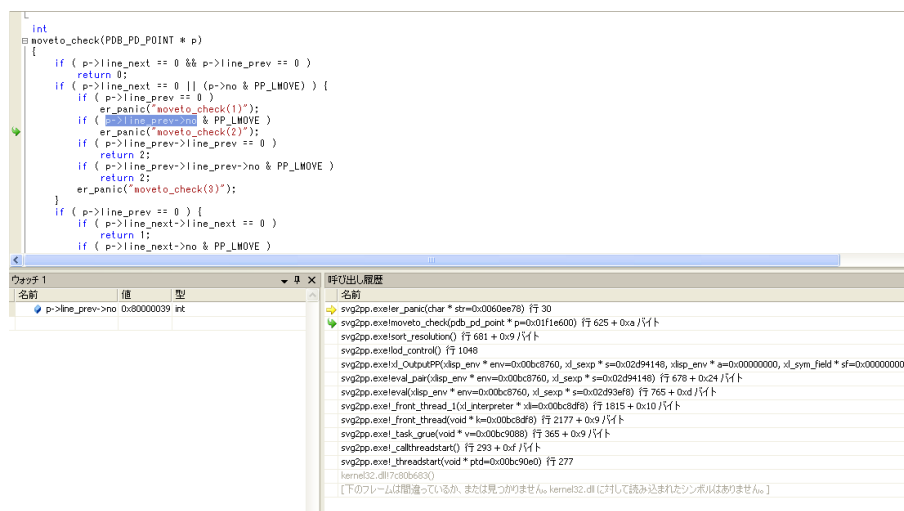


図 41.1: キャプチャ画像

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

第42章 Windows:cosmos

42.1 バグ:2007-05-19-02 クローズボックスでCOSMOSを終了すると キャッシュ、ワープメニューがセーブされずに終了する

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.01 / OS WindowsXP

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント cosmos
- OS
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-05-19)

クローズボックスでCOSMOSを終了すると、キャッシュ、ワープメニューがセーブされずに終了してしまう。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

必ず「ファイル」「終了」メニューで終了する。メインウィンドウが複数開いており、ひとつのメインウィンドウを閉じる場合は特に問題ない。

42.2 バグ:2007-09-11-00 ブラウジング中に地図がアップデートされなくなる

■ 状態

初期報告：bugs / エージェント cosmos / バージョン ver.B.b16.12 / OS Windows Vista

作業状況：報告受理段階 >> 観測 >> 対応中 >> 解決

報告の影響範囲：

- 対象エージェント
- OS Vista
- 解決が反映されたバージョン

■ 初期報告 (日時:2007-09-11)

ブラウジングをしばらく続けていると、途中で地図がアップデートされなくなって、白い部分が残るようになる。

■ 最終報告

現時点なし。

■ ワークアラウンド

Vista の「画面表示プロパティ」で、描画新機能を全部 off にすると、正常動作する。方法は、(<http://plusd.itmedia.co.jp/pcu>

第 43 章 Solaris:gbpmd

関連図書

- [1] 森洋久. xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [2] 森洋久. マニュアル環境とマニュアルの書き方. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [3] 森洋久. gbm x エージェント・リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [4] 森洋久. LANDSCAPE スクリプト・リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [5] 森洋久. COSMOS リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [6] 森洋久, 中島智人. LOCALBASE セットアップ・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.

履歴

1. 日時: 2008-01-08
マニュアル生成。(2008-01-08 版)
2. 日時: 2006-07-28
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b11.01
このマニュアルを作成